

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(142)、(175)」

2. 日時：令和5年6月14日（水）16時00分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、原田安全審査専門職、井清係員、
松末技術参与、田島主任技術研究調査官※

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 土建部長 他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年6月7日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 震源を特定せず策定する地震動について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	はい、規制庁地震津波の続きですそれでは時間になりましたので浜岡現職発電所震源を特定せず策定する地震動、コメント回答のヒアリングを、
00:00:13	開始します。資料としては6月7日付で、資料1点、ヘイスウありますので、こちらについて説明いただいてから中身の確認と、
00:00:24	あとは地震津波関係の審査のスケジュールですね、これはせんだっての会合のときに少し地質の情報等の情報、
00:00:35	現状の情報を書いてくださいというオーダーを出してますんで、こちらも出ていってますんでそれは後で後半にですね、確認をするということでごちょっと区切って進めます。
00:00:45	では、まず特定せずのコメント回答6月7日付、こちらの資料について中部電力から説明をお願いします。
00:00:54	はい。中部電力天野でございます。前回1回目のヒアリングでご説明、事実確認いただきまして、資料の方、わかりやすさの観点で修正して参りましたので、
00:01:06	ご説明をさしていただきたいと思います。
00:01:09	説明時間15分程度になるかと思いますよろしく願いいたします。
00:01:15	中部電力の北川ですよろしく願いいたします。
00:01:19	前回のヒアリングからの修正点を中心に説明していきます。
00:01:23	1ページ飛ばしまして、2ページは1117回会合でのコメントとその回答概要です。
00:01:31	No.2について、今回回答概要の後半に考慮する増幅の程度に関して、増幅係数は断層モデルを用いた手法で採用したものをを用いること。
00:01:42	震源断層から到来するすべての地震はが顕著に増幅すると仮定した保守的な地震動評価を行うことを追加で記載しております。
00:01:53	No.3については修正ありません。
00:01:57	3ページに目次を示します。
00:02:00	資料構成として、2章の初めに掲載しておりました敷地における地盤増幅特性と地震動評価への反映方法については、前回のヒアリングでのコメントを踏まえ、
00:02:12	補足説明に移しております。
00:02:15	その他の構成は変更ありません。
00:02:19	4ページから、1章の概要の修正点について説明します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:24	1 ページ飛んで 6 ページから各項目の概要を順に示します。
00:02:30	全国共通に考慮すべき地震動について、今回は概要を 1 枚でまとめておりましたが、標準応答スペクトル、留萌地震増幅の考慮についてそれぞれ 1 枚でまとめる形に修正をしました。
00:02:46	6 ページの標準応答スペクトルに基づく地震動は、黄色の箱書きの通り、標準応答スペクトルに適合させて作成した模擬地震動を、
00:02:57	敷地の 1 次元地下構造モデルにおける地震基盤相当面に入力をして、敷地の解放基盤表面における地震動を評価して設定すること。
00:03:08	1 次元地下構造モデルとして、SGF モデルを用いること。
00:03:13	地震基盤相当面の設定位置について箱書きに記載をし、下の図には黄色の箱書きの内容と、模擬地震動の作成方法についてまとめて記載する形に修正をしました。
00:03:27	7 ページの留萌地震の基盤地震動に基づく地震動についても同様の資料となっております。
00:03:35	8 ページは顕著な増幅を考慮して評価した地震動の概要です。
00:03:41	箱書きには特定しての断層モデル法で採用した増幅係数を乗じる方法により、地震動の顕著な増幅を考慮する地震動評価を実施すること。
00:03:53	増幅係数は断層モデル法で採用したものをを用いること。
00:03:58	震源断層から到来するすべての地震はが顕著に増幅すると仮定した保守的な地震動評価を実施することを記載しています。
00:04:09	箱書きの最後には、前回のヒアリングでコメントがありました具体的な増幅ありの地震動の評価方法について、
00:04:17	具体的には顕著な増幅を考慮しない解放基盤表面における地震動の評価結果に、
00:04:24	増幅係数を乗じることにより、
00:04:27	顕著な増幅を考慮した地震動評価することを記載し、図もそれに合わせた形に修正をしました。
00:04:37	9 ページは 2008 年岩手宮城内陸地震の概要です。
00:04:42	ここでは比較検討結果のまとめの再整理を行いまして、ひずみ集中体に関する比較を追加し、活断層の分布等の各比較項目の表の記載を修正しました。
00:04:55	黄色の箱書きを読み上げますが、浜岡の敷地及び敷地周辺は、岩手宮城内陸地震の震源域で、事前に活断層の存在が指摘されていなかった主な要因のうち、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:08	堆積岩類が厚く分布することは類似していますが、火山フロントからは離れており、火山岩類が分布していないこと。
00:05:16	第4紀火山噴出物も分布していないことに地域性の違いが認められます。
00:05:23	また、大局的な地体構造区分が異なり、活断層の存在の把握に資する断層変位基準となる第4紀の改正段丘面及び段丘堆積物が分布していること。
00:05:36	プレートの沈み込みが直接影響する付加体地域の圧縮効力による逆断層及び褶曲構造が分布していること。
00:05:46	ひずみ集中体の指摘がない地域に位置することについても、地域性の違いが認められ、これらのことから、岩手宮城内陸地震の震源域と、
00:05:56	浜岡の敷地及び敷地周辺等は、地域性が異なると判断し、観測記録の収集対象外としました。
00:06:06	10ページの2000年鳥取県西部地震についても同様に修正をしています。
00:06:12	同じく黄色の箱書きを読み上げますが、浜岡の敷地及び敷地周辺は、鳥取県西部地震の震源域で、事前に活断層の存在が指摘されていなかった主な要因のうち、
00:06:25	活断層の密度が少なく、活動性が低いことについて、プレートの沈み込みが直接影響する付加体地域の圧縮効力による逆断層。
00:06:36	及び褶曲構造が分布していることに地域性の違いが認められます。
00:06:41	また、大局的な伝い構造区分が異なり、
00:06:45	堆積岩が分布していること。
00:06:48	断層変位基準となる第4紀の改正段丘面及び段丘堆積物が分布していること。
00:06:55	ひずみ集中体の指摘がない地域に位置すること。
00:07:00	火山フロントから離れていることについても、地域性の違いが認められ、これらのことから、鳥取県西部地震の震源域と浜岡の敷地及び敷地周辺等は、地域性が異なると判断し、観測記録の収集対象外としました。
00:07:17	11ページ以降の資料に変更はありませんが、増幅なしとありの評価結果が連続となるよう、12ページと13ページの順番を入れ替えております。
00:07:29	以上が概要の説明になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:33	ページ飛んで 17 ページお願いします。
00:07:38	17 ページから、2 章を全国共通に考慮すべき地震動のうち、2.1、標準応答スペクトルに基づく地震動についてです。
00:07:48	まず、冒頭の検討概要について、1 章の概要で修正したページを 19 ページに再掲し、20 ページは、記載がかぶる部分もありますので、
00:07:59	評価フローのみを掲載する形に修正をしました。
00:08:04	2.2 節の留萌地震も同様です。
00:08:08	また、模擬地震動の作成の複数の方法による検討において、一様乱数の位相を用いた方法と、実観測記録の位相を用いた方法による地震動の位置付けがわかりづらかったため、
00:08:22	各社の記載を修正しておりました、20 ページお願いします。
00:08:30	20 ページの右のフローのうち、③について、もともとフローの外に記載をしておりました点の下線部を③の箱書きに移動しまして、
00:08:40	模擬地震はは一様乱数の位相を用いた方法で作成することと。
00:08:45	模擬地震はこの作成の複数の方法による検討として、実観測記録の位相を用いた方法による地震動との比較を行い、一応乱数の位相を用いた方法による地震動の、
00:08:58	妥当性を確認することを明確にしました。
00:09:02	ページ飛んで 29 ページお願いします。
00:09:08	20 ページの修正に合わせて 29 ページの検討方針のページも修正をしておりました、具体的には、上段に今説明した内容を記載した箱書きを追加しております。
00:09:21	34 ページも修正しておりますので 34 ページお願いします。
00:09:27	34 ページは、模擬地震動の作成の複数の方法の比較として、加速度時刻歴は形の比較を行っているページですが、ここでは共振分についてコメントをいただきまして、
00:09:39	共振部の定義は難しいですが、一応乱数の位相を用いた方法では、野田 Tall2002 の方法による振幅包絡線の主要動部が設定されていますので、
00:09:51	それを用いた比較がわかりやすいと考え、野田の首藤、主要動部を指標として比較に箱書き二つ目の記載と、図の示し方を修正しました。
00:10:02	一様乱数の位相を用いた方法による地震動の方が、継続時間が長いという結論は変わっておりません。
00:10:10	続いて 37 ページお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:14	37 ページからの 2. に北海道留萌支庁南部の地震の基盤地震動に基づく地震動についても、概要は、伊勢 1 章の修正を反映する形で修正をしております、
00:10:28	その他修正はありませんので、ページ飛んで 80 ページお願いします。
00:10:37	80 ページから、2.3 地震動の顕著な増幅を考慮する地震動についてです。
00:10:43	こちらと一緒に資料を、81 ページに概要ページとして再掲しています。
00:10:50	82 ページでは、右下の図のタイトルは、グリーン関数法に乘じる増幅係数となっていたため修正をしました。
00:10:59	83 ページからの増幅ありの具体的な、
00:11:03	評価結果の資料については、冒頭に具体的な算定方法を追記したことに合わせ、箱書きの記載を修正しています。
00:11:12	ページ飛んで 89 ページお願いします。
00:11:17	89 ページから、3 地域性を考慮する地震動についてです。
00:11:23	1 ページ飛んで 91 ページからが 3.1、2008 年岩手宮城内陸地震についてですが、
00:11:30	ここでは比較検討結果のまとめの再整理をするにあたり、記載の修正や資料の追加を行っております。
00:11:39	追加資料としては 110 ページにひずみ集中体の比較検討資料を追加しております。
00:11:46	110 ページお願いします。
00:11:49	箱書き二つ目の丸の通り、2008 年岩手宮城内陸地震の震源域は東北脊梁山地ひずみ集中体に位置していますが、
00:11:59	敷地周辺はひずみ集中体の指摘はないことを記載しています。
00:12:05	ページ戻りますが 109 ページお願いします。
00:12:11	109 ページは前回敷地及び敷地周辺の活断層調査として説明していた資料について、前回のヒアリングを踏まえて、断層及び褶曲構造の分布に関する浜岡周辺の、
00:12:24	知見の説明資料に変更をしました。
00:12:28	その他比較検討結果のまとめの表を再整理するにあたり、各ページの記載の修正や、震源域周辺の褶曲構造を説明するページとして、
00:12:38	96 ページを追加しております。
00:12:43	続いて 113 ページお願いします。
00:12:47	113 ページからは、3.2、2000 年鳥取県西部地震についてです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:53	こちらも同様に、126 ページに、ひずみ集中体の比較検討の資料を追加しています。
00:13:01	126 ページ、二つ目の丸に、2000 年鳥取県西部地震の震源域は、山陰地方のひずみ集中体に一致しているが、敷地周辺はひずみ集中体の指摘はないことを記載しています。
00:13:16	また、岩手宮城と同様に比較検討結果のまとめの表の再整理を行うにあたり、各ページで記載の修正を行っています。
00:13:26	3 章については以上です。
00:13:29	続いて 129 ページお願いします。
00:13:36	129 ページからが、4 章震源を特定せず策定する地震動の策定についてですが、前回からの修正はありませんので 133 ページお願いします。
00:13:49	133 ページからは補足説明資料です。
00:13:53	134 ページからの補足説明資料①については、基本的には前回のヒアリング資料の 2.1、敷地における地盤増幅特性と地震動評価への反映方法の再掲ですが、
00:14:07	地震動評価への反映方法をまとめたページを冒頭に移動させたり、
00:14:12	断層モデル法による増幅ありの評価の資料を一部削除したりしています。
00:14:19	ページ飛んで 169 ページお願いします。
00:14:28	169 ページは全国共通に考慮すべき地震動について、地震動の顕著な増幅を考慮する地震動評価を行うことを説明している資料ですが、
00:14:39	前回のヒアリングでのコメントを踏まえて、下の図について、S 波低速度層の Vs を追記するとともに、前回の図ではこのページで説明したいこと以外も図に記載をしており、
00:14:52	オカエを招いてしまう可能性があったため、ここで必要な内容のみ、または増田からの入力には増幅せず、角度を持ったものが増幅することがわかるように、
00:15:02	増適正化する形で修正をしております。
00:15:07	2 ページ飛んで 172 ページからの補足説明資料②は、前回も掲載していた増幅ありの標準応答スペクトルに基づく地震動の、
00:15:17	模擬地震動の作成の複数の方法による検討についてです。
00:15:23	前回のヒアリング資料では、いきなり増幅ありの実数観測記録の位相を用いた方法による地震動を示しており、資料の位置付けがわかりづかったため、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:34	173 ページに概要ページを追加し、補足説明資料②の位置付けがわかるようにしました。
00:15:42	また 176 ページの時刻歴派遣の比較については、増幅なしと同様に、箱書きの記載と、図の示し方を修正しています。
00:15:53	固定せずに関する説明は以上です。
00:16:05	はい規制庁鈴木です。説明ありがとうございました。
00:16:09	今回は、前回のヒアリングからの修正反映ということて、
00:16:15	ちょっと嘘その会合で説明書を受けて議論をしていくこと。
00:16:20	考えてですね。
00:16:22	ちょっと冒頭の方から欲しい。
00:16:25	確認をしていきたいと。
00:16:28	概要の冒頭の、いわゆる 6 ページからですかね。
00:16:31	この概要の部分は大分す。
00:16:33	切りはしたんです。
00:16:36	カー。
00:16:37	一応、今 6 ページ私見てます。須藤。
00:16:42	ここはどういう、
00:16:45	手順でやるかを端的に書いて、既往複数の手法っていうところは一応右下の箱書きに、
00:16:52	書いてはいると、留萌の方も 7 ページで、
00:16:57	できるだけ手短かに書いたっていうことなんですけど、
00:17:03	何か痛しかゆしではあるんですけどこれ、実際に使う地下構造モデルとか、そういう情報っていく非常にいけないと初めて、
00:17:12	ここないんですよ。
00:17:14	何かイメージ図は確かにあって、いわゆる SGF 使えますっていうのはあるんですけど、
00:17:19	これ多分後にぺらぺら捲っていてもなかなか
00:17:23	地下構造モデルこれですっていうのがちょっと出てこない。
00:17:27	いいわけですよ。
00:17:28	さらに、この増幅の方も 8 ページなんですけど、
00:17:33	これもう、
00:17:34	これだから増幅の行為をしますっていうこと等、具体的にどうやってやりますということをしてできるだけ 1 ページにまとめていただいたと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:45	これもなぜ、増幅を考慮するのかとか、一応標準応答スペクトルと留萌
00:17:51	と二つあるんだけど1どちらも、
00:17:54	全額するんですよね。それが多分地下構造、地下構造モデル、或いはその実際の低速度層の、この場所、位置関係ですよね。
00:18:03	それと、入力する位置とか、その関係で、多分考慮してるんだと思うんですけどそれって、後の補足説明の方にいかないと。
00:18:12	わからん。
00:18:13	確かにもともと書いてあったのはいろんな情報があるんです。
00:18:18	少し漫画ですかね。
00:18:20	概要、もともと前回やったのか、概要版の漫画が、
00:18:25	確かにいろんな情報があってわかりにくいとは言ったんですけど、何ページだったかな。
00:18:33	最後の方で、後半で、
00:18:36	説明をいただいた。
00:19:03	ちょっとすいませんね。
00:19:05	漫画があったのは何ページに行ったんだっけな。
00:19:27	すみません 10699 ページですね、多分その具体的に、
00:19:32	二つあるその全国共通のうちどちらのやり、どちらをどういうやり方で評価する海嶺、まずその増幅の考慮。
00:19:40	自体は、一応全国共通の地震動自体が、結局どこで起こるかわからん、ないもので一応到来方向っていうのはあるんだけどどこで起こるか。
00:19:50	わからないものなんで、いやそれは、電話に考えて
00:19:55	を考慮しましょうという議論だったと思うんですよねデータは多分、十分。
00:20:00	認識共有だと思うんですけど、ただそのときには、あまりその留萌だ標準を通すべきだって具体のところをやってなかったんで、今回はどちらも増幅考慮しますということなんですけど。
00:20:12	一応、委員会としては、このS波低速度層、
00:20:17	100メートルから大体400メートルで、
00:20:20	実際一次元。
00:20:22	地下構造モデルを使って評価をしてその途中で増幅係数を掛けるといったときに、一応、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:29	標準応答スペクトルはだから地震基盤よりも上にこの S 波低速度層があ って、留萌も、
00:20:35	あれですかね港町観測点相当。
00:20:38	が、この S 波低速度層にある程度かぶるので、
00:20:42	どちらも、
00:20:44	株価、部分的にかぶるからといって、中途半端に増幅かけるんじゃなく て一応もう全部掛けしますって、多分そういうやり方だと思う。
00:20:53	ちょっとそういったところがですね。
00:20:56	このですか、実 S 波低速度層の位置関係とか実際の地下構造モデルと か、どこにするかだとか、
00:21:04	そこら辺のですね。
00:21:06	関係が、
00:21:08	冒頭の概要今で言うと多分 170 ページだけを見て、
00:21:12	それがぱっと理解できるかというところちょっと難しいんじゃないかなっ て。概要版でどこまで書くかっていうのあるですけどこれさすがに今不 足 1 にならないところが出てこない。
00:21:23	基幹系も出てこない。
00:21:26	概要版で、
00:21:28	書きすぎると、多分概要で説明するときにも話が長くなるんでっていう ことで今回あっさりしたと思うんですけど。
00:21:34	概要版から個別の説明に、せめて個別の設定に入ったところ、説明がな いと。
00:21:44	とりあえず両方やります。
00:21:46	わかったけどっていう。
00:21:48	あれ何でこれ両方やってるんだっけってというのが補足に行かないとわか らないってのはちょっと惜しいですから。
00:21:54	ちょっと概要は、これだけあっさりさせたので、あんまりこれ以上修正 すると思うということであれば、多分この 8 ページを説明した後に個別 に入ってくと思うんですけど。
00:22:06	どうぞ区割りを説明することとかで、
00:22:10	もう少しもうワンクッションですね、詳しくしたものを、
00:22:14	入れた方がよろしいかという、そういう話です。
00:22:18	あんまり概要版これ以上突き詰めていっても、
00:22:21	ちょっとこのぐらいにしときますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:23	すいません。イメージわかりました。
00:22:26	中部電力の岩瀬です。コメントありがとうございます
00:22:31	最初の六、七ページの標準応答スペクトルと留萌の通常の評価の方については、
00:22:40	地盤モデルを入れると、他が小さくなるので入れてなかっただけなんで迷ったんですけども、ちょっとそれは単純に、他を、
00:22:51	小さくしてでも入れた方が、根拠がわかりやすいということだと思いますのでちょっとそこは工夫して何とか入れるようにしたいと思います。
00:23:02	基本それで
00:23:04	必要な主に議論になりそうな根拠のところにつけては、入れることは配慮したつもりなので、
00:23:11	それで足りるかなと思ってます。もう一つの8ページの増幅に関しては、もともと我々到来方向の話と、あと、真下という議論はしてたんですけども、
00:23:26	入力位置によって、留萌地震と標準応答スペクトルを、あまり分けられるとは思ってなくてですね、そもそも我々入力値の議論が、
00:23:37	当然
00:23:39	低速度層がどの深さにあるかというところはきちり説明する必要あると思ってますので、位置関係の適時はしておりましたけれども、そこを理由にするつもりがなかったもんですから、
00:23:52	最初っから我々としては、入力位置でなかなか分けるっていうのも、理屈的に説明が難しいんじゃないかって思いもありまして、
00:24:02	我々としてはもう考慮するなら、考慮する特に我々の地盤モデルの、
00:24:10	における増幅特性の差分を増幅係数という形で考慮してるもんですから、トータルで見てる入力位置云々というよりはトータルで、どこで起きてるかってなかなか議論しにくいって思いもありまして、
00:24:24	それあまりそういう議論にするよりも、シンプルに、
00:24:29	増幅を考慮するのかもしれないかっていう議論を、我々としてしてきたところで、安全側に考えるとやはり考慮すべきじゃないかということと、
00:24:40	もう一つは、
00:24:43	特定せずとして別な考慮方法を、明確な定量的な根拠を持ってできるかといった時に仕分けが難しいという判断をしましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:53	特定してと同じやり方でできる限りシンプルにお示しさせていただくということを、8ページにシンプルに書いたつもりでした。ただ一方でちょっとわかりにくいなと今お聞きして思ってたのはここに
00:25:08	到来方向に限られるような揺れだけど、全部にかけるんだとかその辺の概念に関する図は、逆に落としてしまったので、
00:25:19	そこら辺はちょっとわかりにくいかなとも思ったんですけども、ある意味、増幅を考慮しますということなので、
00:25:26	概要としては8ページでのぐらいの方が、もう明確でいいかなと思ってるんですけどももし、
00:25:34	何か少し、プラスするとしたら、補足だけに入っているというところの問題点はわかりましたので、
00:25:44	本部の何ページか。
00:25:49	81ページからの増幅ありのところの概要の
00:25:53	後、
00:25:55	とかに少しこう、
00:25:59	補足にまわしてしまった。そこら辺りの考え方をしていたところの部分。
00:26:05	先ほどでいくと、169、
00:26:11	の辺り、
00:26:14	島。
00:26:15	ちょっと、少し、どれを持ってくるかは考えますが、もしかしたら165ページと169ページの、
00:26:26	検討をもって最終的に、こういうやり方でやりますという判断をしておりますので、ちょっとこのあたり補足だけではなくて本文にもきっちり入れておくという対応がいいかなあというふうにお聞きして考えております。
00:26:42	以上です。
00:26:45	ありがとうございます。あれですか8ページはシンプルにやることだけを書いて、具体的にどういう背景であるかとか、
00:26:55	具体、どう、どういう背景でこういうやり方になるんだとかっていうところは、後ろの80何ページかなっていう本体の方に持ってくると。
00:27:03	わかりました等、あまりS波低速度層の位置、確か200から400ってある程度アバウトなものなので、あんまりそこに
00:27:13	優良市との厳密性みたいな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:16	そういうものはだからあまり考えていなくてやるならやるやらないなら ないっっちゃう考えですね。
00:27:21	はい、電力の岩瀬です我々としてはそういうふうにして入力市と何か増 幅ありなしを仕分けるといふ考え方は我々はしませんでした。
00:27:35	はい。
00:27:36	あとこれもちょっと概要のところに入れるのかと、外のところ、気分 書き出すのかっていうのあるんですけど、ちょっと特定増幅ありなし 5 号炉周辺、
00:27:50	では、ように、ポーホールの設備じゃないですよ、5号炉周辺のエリア ように、増幅ありの評価をするんですみたいな話は、
00:27:59	これはどこで初めて出てくるかという、確かに1年ちょっと前の特定 市の議論を覚えていると。
00:28:08	出てくるんですけどこれもだから今補足一、二だ。
00:28:12	いかないと。
00:28:14	こういう趣旨でこういう場所のっていうのは、
00:28:18	出てこない。
00:28:20	この増幅ありのケースって、
00:28:23	どこのために作ってますかっていうのは、
00:28:29	あまりその後段規制とか設計の話だとか、そんなところが強いところま で書いてくれって言うつもりないんです。
00:28:36	何々を見、何々のためにっていうのは、
00:28:41	急に行かないと出てこない。
00:28:43	このこの増幅ありの、
00:28:46	位置付けですよ。中部電力の岩瀬です。153 ページ上、
00:28:51	ご覧ください。
00:28:53	おそらくこれが1枚あるだけで、もともとどういう考え方で、増加あり となしを敷地の地震動に当てはめようとしたかは表してますので、
00:29:05	これと、あと、一応一応関係を補足するとすると154 ページに、
00:29:10	エリアを、議論いただいた根拠がありますんでちょっとこの2枚も先ほ ど申し上げた169でしたかね、あの辺りを持ってくると一緒に、
00:29:21	少しく流れがわかるような形で、80何ページあたりに、ちゃんと読み 取れるように移動させ、両方に置くようにしたいと思います。
00:29:33	そうですね。はい、そうであれば、概要版であっさり説明して個別でっ ていうところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:38	多分説明と、徴収側っていうか、聞く側も、
00:29:42	ちょっと入ってくると思いますはい、わかりました。
00:29:46	ですよ。ちょっと同署が岩手宮城の
00:29:52	方が9ページ10ページに岩手宮城をさ、少し変えました。
00:30:00	いうことで、
00:30:06	ちょっとここはですねえ。
00:30:08	あの表を。
00:30:11	今日のところで地質分布自体は、ここ変えてないんですね堆積岩が厚く分布する。
00:30:18	一方で火山岩りはない。だから三角というところで、
00:30:22	ひずみ集中体が出されて、あと活断層分布のところが、
00:30:29	うん。
00:30:34	これ勝層分布は、あれ、バスを三角バスにした、したんですか。
00:30:39	これは
00:30:40	私前回の差分だと、ここ変えたんですよ。
00:30:47	中部電力の岩瀬ですここは正直言うと、迷ったところではあるんですけども、抗力バーの関係とかも含めて、
00:31:00	少し議論できるようにという形で、この活断層の分布の中の記載を検討している中で、
00:31:06	変えていくと、これ参画とするよりも、
00:31:10	能力の方向も違っていたりしますので、中途半端に三角とするよりは、バツにした方が整理がいいんじゃないかという形で今回は、
00:31:23	少しこの比較検討結果の三角とバツの表記を変えるという形にさせていただいております。
00:31:48	うん。
00:31:50	ちょっと後退関井がん類のところとの改訂、割と堆積岩の分布するっていうところは一旦ここでは今回類似点として、ここは単に事実として挙げておいて、
00:32:01	むしろ上の、この表は表としてまとめた上で、上の本体それを基にしたと思う、中部電力なりの評価ですよ、最終的にどうするかのところ、
00:32:12	一応堆積岩という部分では類似してるけど、それ以外の火山系のところは違いがあります。さらに言えば、大局的な地質地帯構造であったり、そもそも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:24	活断層見つけやすさっていう点かもしれませんが、ここの断層変位基準となる段丘がありますよ。
00:32:31	何か上のところで、ある程度、部分的に類似してるものを打ち消しに行っているように見えるんですけど、
00:32:38	一方で今のその逆断層褶曲構造の方は、何か下の表の中で、
00:32:44	消しに行ってるように見えて、ちょっとそこら辺の整理が、
00:32:49	よくわからなかったなあと。
00:32:59	中部電力の岩瀬です。実際やろうと。これ、正直迷ったとこなんですけどやろうとすると、素直に書くとき、三角として書く場合は、逆断層と褶曲構造これ流動の問題だと思ってるんですけど。
00:33:13	という目で見れば、類似するが、土肥いうのを前に置きながら、今のことを書くことになると思ってたして、ちょっとそれがいいかどうかで、迷った。
00:33:23	結果として今こう書いているというのが今の実情です。
00:33:32	逆に少し補足しますと、もう1、もう一つは先行サイトの
00:33:38	東通、
00:33:40	傘下の議論とかを踏まえて、もともとガイドに書いてある、ここ少し上で、白い四角のところに、上部に軟岩や火山岩、堆積岩が厚くする分布する地域で発生した地震と大きく書かれているところを、
00:33:56	ここを少し重視した整理をした方が皆さんわかりやすいんじゃないかということで、冒頭の1個目の丸のところについてはそこを中心にどこが類似してるかどうかっていうのをしっかり書いて、
00:34:09	その上でそれ以外にも、どうなんだと、類似してるところはやはりないよねということで、ちょっと整理を少し変えさせていただいた。
00:34:20	この方がガイドとの照らし合わせが確認していただきやすいんじゃないかということで書いていまして、その上で、そのことがわかるように、最後の矢印のところに、
00:34:33	冒頭に、主な要因の一部、
00:34:35	では、特徴が似てるけれども、主な要因のうちのその他の特徴は火山岩の分布とか、やわらかい加算、堆積物が分布しているような、
00:34:47	ものはないということと、それ以外にひずみ集中体も含めて比較したときに、特に類似しているというような観点もありませんでしたという考え方我々が見た。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:59	整理結果というものを追記するという形で、今回ちょっと再整理をさせていただいたというものになっております。補足は以上です。
00:35:14	はい。
00:35:16	利用者がどう整理したかってのはわかります。
00:35:18	はい。
00:35:19	藤通り県西部はこれもともとがバツなので、
00:35:26	これ、確かに鳥取県西部の活断層分布の方多分最終的にどこどこで線を見るにしても、バツになるっていうことが、
00:35:35	はい。泉集中体のところも、
00:35:38	したけど、
00:35:40	位置する位置しないはい、そういう整理ですね。はい。
00:35:47	あとは、ちょっと評価結果。
00:35:50	ここ。
00:35:52	のところは 11 から 10 は、これは特に、
00:35:56	で、
00:35:58	いないかな。
00:35:59	はい。
00:36:02	すいませんちょっと冒頭の整理のところだったんですけど、他に何か来なければと、個別のところいきますよ。
00:36:13	荒谷です。私もさっきの 9 ページの、
00:36:16	鈴木さんが言ったところを気になりましたんで、これ 7 で気になったかという項目は活断層の分布っていうことであって、
00:36:25	笠松の分布を見るのであれば、その中、
00:36:29	今の中部電力の話だったら、
00:36:32	何かその活断層の分布じゃなくってそのメカニズムというか背景みたいなことを、
00:36:38	考えて、
00:36:40	ていうような、
00:36:41	話に思えたんですけども。
00:36:44	ね、これをぱっと見ると、
00:36:47	分布自体は
00:36:49	0 ではないのはわかりますけど、
00:36:51	それさ、普通に見たら何か、
00:36:53	三角のように私はこうぱっと見て感じると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:58	三角だったらどうのっていう話でもないと思うんで、そこは何か、言ったように
00:37:04	あまりこう、先入観なく、そこだけを比べたらどうなのかっていうような観点で整理したらどうなるのかなっていうのを、聞きたかったと。
00:37:13	いうところなんですね。
00:37:19	はい。中部電力浜野でございます。ありがとうございます 108 ページに今の、
00:37:24	活断層の分布のところ、細かく書いてまして、確かに谷さんおっしゃる通りちょっと活断層の分布で比較って言って、
00:37:36	キーワードとしては当然逆断層褶曲構造というものが分布するっていう意味で一緒なんですけど、おっしゃる通りメカニズム的にも違いますよねってことをここで、
00:37:47	詳しく書いててそれを 9 ページに引っ張り込んでるんですけど、
00:37:53	確かにタイトルが、と記載が少し違ってて分布してるっていうならキーワードで三角でしょうし、中身が違いますよねって言いたいんなら、このタイトルを変えるべきだっていう
00:38:07	ご指摘は非常にわかりやすくありがとうございましたちょっと、どれが適切か少し考えて、適正化したいと思います。
00:38:28	藤田嶋さんどうぞ。
00:38:34	橋本です。場所は、1 ページ前に戻って 8 ページについてちょっと、こちら、ちょっと説明とか資料のわかりやすさの観点でさ、最初に鈴木さんからあった。
00:38:49	やはり話とのやりとりに関係するんですけど、何か私も補足に、今説明資料一致とかに、
00:38:58	結構な分量が全部、
00:39:00	言っている上にそれを参照するような括弧書きとかもないんで、かなりこう順を追って読んでいくと迷子になってしまうような感じかなんか思っていて、
00:39:12	やりとりを伺っていると、コンペインに、一部持っていきますよっていうやり、やりとりあったんですけど、本編に移動はしたとしても、
00:39:23	概要とか、あとまとめもだと思うんですけど、とかで、どのページに、あまり説明を書かないのであれば、どのページに害を、該当するっていうのが、
00:39:34	ちょっと参照的に飛ばしていただかないと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:38	結局 80 何ページまでいかないってというのは、やはりわかり辛いなあというようなのが、
00:39:45	点あります。これ、もう一つが、ちょっとわかる人にはわかると思うんですけど、8 ページの二つ目の丸で、
00:39:54	ちょっと誤解を生むんじゃないかなという表現があって、それが下から 3 行目と 4 行目、下から 3 行目と、
00:40:05	下から 2 行目からさ、下から 3 行目の当選から始まるやつですね。
00:40:10	この震源断層から到来するすべての地震はが顕著に増幅すると仮定した保守的な地震動評価を実施しているのが、
00:40:20	よくよく見ると地震動評価自体を保守的にしてますよということなんですけど、
00:40:27	これだけ読むと、どのエリアを対象にしているのが、結局上の丸には書いてあるんですけど、結局この号炉周辺であったとしてもさらに合意性がありますよみたいなのが、
00:40:42	で、
00:40:42	その上で一番厳しい増を採用してますっていうことが多分言いたいんだと思うんですけど、すべてのみたいなのが入ってくると、結局、5 号炉周辺だけなのかそうじゃないのかとか、
00:40:56	どこで 153 とか 154 のどこに適用する目的でこの
00:41:03	地震動を作ってるのかっていうのはわからないんで、非常にこのすべてののってのは全全領域に対してこういう一番厳しいのを、
00:41:13	採用するのかなっていうような、ちょっと誤解を与え、
00:41:18	よく知らない人というか、しわかってる人には大丈夫なんだと思うんですけど。
00:41:23	ちょっとそうですね。ここだけ読むとそのような感じで誤解しそうなので、
00:41:29	そのポイントとしてまず 5 号炉周辺の領域でも、顕著な増幅にはその合意性があるんだけど、ここでは今回は最も大きな増幅度合いを採用しますとかっていうふうに、
00:41:43	あまりこのなんか全部大井のデータとかそういうのが何か、
00:41:48	ちょっと表現として必要なのかっていうのと、あとは、ちゃんとその 153 とか 154 に整理している領域に限定して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:58	その増幅ありを適用する予定なんですよってという目的をちゃんと書かないと、実際この増幅でいいのかどうかとかっていうのをそのあと判断するためにも、
00:42:11	目的がわかんなかったりすると、ちょっとあと増幅度合いもやっぱり、一番これが、総福としてかなり大きめのものを設定して、これが、
00:42:21	まあ、そうですねさ、すごく大きいものを、一番大きいと思われるようなものを設定してるとかっていうのでも、そのままでもなくて、自分たちでこうなんですかね、線を引いてこの増幅率設定してるんだと思うんで、
00:42:35	そういうのをここ包絡するような、大きいと一番顕著な増幅をさらに、
00:42:41	包絡するような線を引いてますとか、何かそのあたりのニュアンスがもう少しわかりやすいように、河合の概要で最初に、
00:42:53	言ってもらって、かつ、本編の間に移してくる、
00:42:58	何ですかねもうちょっと詳細な情報を参照するみたいな感じにすると、いいんじゃないかなと思ったんですけど。
00:43:08	そのあたり、いかがでしょうか。単なる資料の
00:43:13	書き方になってくるんですか。
00:43:19	中部電力の岩瀬です。ちょっと十分わかってないところがあるかもしれませんがすべての最初のところに関しては、ちょっと確かに書き方が、
00:43:30	悪いところはあるんですけども、二つ目の丸の1行目の後ろの方ですね、震源断層の一部、これは本当はちゃんと書くと、
00:43:40	震源断層から来る地震はの一部なんですけれど、
00:43:45	その一部に対する対して、すべてと書いたつもりだったんですけども、多分そこは確かにご指摘の通り読み取れないので、
00:43:55	そのあたりを少し適正化、表現の適正化はしたいと思います。もう一つは
00:44:01	ここの丸の中でそれは低俗その影響を受けるのは増幅孔口に当たるっていうもう5号機の話に限定して5号機周辺の話に限定しても話をするつもりなんですけれども、
00:44:13	ちょっとその辺がわかりにくいということだと思いますので、そこら辺もちゃんとわかるように追記をしたいと思います。
00:44:21	増幅係数のところのお話と、CTは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:29	基本的に震源を特定してのところで評価した内容の大枠がわかるように図の下のところに、駿河湾の地震ていうのが増幅の程度が大きくて信頼性の高い、信頼性の高いもののうち一番大きいものなんですけれども、
00:44:46	そういうものを使っているという考え方を記載してそれ以外は、具体的にちょっと図を見ていただかないと、多分
00:44:56	完全に包絡してるというよりは、周期体としては幅を見て余裕を見つつ、要は周期を取り逃さないようにしつつ、最終的には検証しながら、
00:45:07	安全側の評価をしていることは見ているんですけども、ページで言うと、
00:45:21	82 ページですね。
00:45:27	に飛ぶことになるので、8 ページのところには補足としてつけたり、あと評価の
00:45:38	顕著な増加を考慮するところの詳細という形で細かくは全体は後ろを見てねという形で、大きく飛ばしてしまってるんですけども、
00:45:48	もう少しこの増幅係数の根拠が見たければ、どの辺を見ればいいのかというのをもう少し細かめに、参照するページを追記したいと考え、
00:46:01	ています。
00:46:06	ひとまず私が今認識できたのは以上ですが、何か他にありましたらお願いします。
00:46:12	清町田島です。はい。ご回答ありがとうございます。そうですね。趣旨、ほぼほぼ伝わっているかと思います。
00:46:23	はい。それがもし特定しての時と、
00:46:27	全く同じなのかそれとも今回やっぱこの 82 ページと違って、
00:46:33	大事だよなと思うので、最も
00:46:37	そうですねすべて到来すると仮定してってというような話と、何か直接計算して増幅率を出したような言い方と、この最後黒瀬にこういろいろ検討して、
00:46:51	決めたっていう、
00:46:54	今のお話は、ちょっとこう、
00:46:58	そうですね、結びつかん粒を結びつかないなと思うので、そのあたりやはり御説明は、岡井がないように、
00:47:07	された方がいいんじゃないかと思います。
00:47:11	もっと到来方向で最も増幅するようなものを参考に設定し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:20	しています。だけで言って、何かすべての到来方向で増幅すると仮定とかそういうのって、
00:47:28	そうですね、何か
00:47:31	今までの議論があると、そういう書き方。
00:47:34	押されたいなるような気持ちは確かにわかるんですけども。
00:47:39	学校ややこしくなってしまうような表現に思いましたので、
00:47:44	どうやって設定しているかを端的に。
00:47:47	概要では示される方がいい。
00:47:51	そうかなというのがあります。
00:47:54	それはいかがでしょうか。
00:47:58	中部電力の岩瀬です。
00:48:01	方針、どう保守的に考えたかを、ある程度加工として今のような形。
00:48:09	書いているんですがちょっとわかりにくいというご指摘は、
00:48:15	その通りなところもあると思いますので、少し表現方法については少し考えて整理をします
00:48:25	細かい話の書き、
00:48:28	カッターは、必ずしもここでなくても後ろの方で書けばいいっていう。
00:48:34	概要のところとしてはより端的に落ちて、
00:48:38	すぐ後ろの方でシンプルに書けばいいという、詳しく書けばいいというものもあると思いますのでそこは再整理したいなと思うんですけども、一方で、2ページのコメント、
00:48:51	対応のところ、
00:48:54	の話でコメントで増幅の程度についてどう考えているのかということを示し整理して示さなきゃいけないということについては、概要で、
00:49:05	我々書かなきゃいけないと思ひまして、少しわかりにくくなることは承知の上で、ちょっとあえて書いたという事情もありますので、ちょっとそのあたり
00:49:17	どこまでわかりやすくできるかはチャレンジしてみますけれども、そういう事情もあって少しこういう形を変えているというものです。以上です。
00:49:28	規制庁岡島です。はい、わかりました。えっとですね、もし書くとしたら、
00:49:35	もし岡井。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:37	それで特に問題がないのであれば、例えばなんですけど、5号炉周辺領域であっても、顕著な増国は、その高依存性があるけれども、
00:49:49	最も大きな増幅度合いを参照して、増幅率を決めたとかそういうふうな、もっとシンプルに、
00:49:59	前、前、すべての地震はバーとか到来するすべてとかそういう仮定の話は抜きにして、要は一番増幅する方位の、
00:50:10	増幅率を参考に設定してます。だから一番こう、
00:50:16	厳しいものを設定してますという程度の説明。
00:50:20	では、何かあれなんですけど、誤解がありそうなんでしょうか。
00:50:29	田嶋さん宛重水素ちょっと見せ方とか表現は考えてもらうのと、なかなかちょっと概要の
00:50:38	ところで、概要の文章に書いてあることを、確かにすべからく下の図で表しているわけではないので、ちょっとそこら辺はここは後程説明しますとか、これは多分ページ飛ばすんでしょね。
00:50:50	丹、恩田先でわかるようになってればいいのかと思ってですね。
00:50:56	ただ、一方で本当に補足まで見ないと全くわからないページも、先ほど冒頭言ったようにあるので、ちょっとそこら辺は工夫していただくということで、
00:51:06	はい、お願いします。
00:51:11	それでよろしいですか。
00:51:14	力の岩瀬ですご指摘を踏まえて、
00:51:19	概要として前に書くべきものと、
00:51:23	その根拠として本体の後ろの方に書くもの等で、その書くべきものは補足だけっていうわけには、価格決していいことではないので、
00:51:35	ちゃんと本体、本文の方に、その必要な説明が入るようにという形と、あとそれぞれリンクをしっかり参照先をわかるように配慮して記載をしたいと思います。ありがとうございました。
00:51:54	セイチャン田嶋です。もう1点ちょっとすみませんかなり刻下ついではなるんですけど、今補足説明資料が、
00:52:05	結構分量があって、何ていうんですかね、1まとまりで例えば、補足説明資料の①ですと、何々の反映方法と言い出して、
00:52:16	40ページ強あるんですけど、割とその中にさらに見いだしの後に括弧書きで、何かソフト係数の話だったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:27	特定しての件だったり、地震動評価についてとかあと観測関係の分析のこととかが、括弧書きの見出みたいな感じで、
00:52:37	たくさん小分けに入っていて、実際反映するっていう話もさっきの100、適用方針みたいに153とか154以外も、
00:52:48	かなりいろんな情報が入っているので、補足としてもし直接ダイレクトにこういうところで参照されるのであれば、
00:52:58	ちょっとまとめすぎてのもうちょっと小分けにして、各その補足の中でも、どこなのかみたいなのは、ないと、なかなか探しづらいなというように、
00:53:11	気がしましたので、こちら参考までですが、ちょっと私の所感としてお伝えいたします。
00:53:20	電力の岩瀬ですご指摘ありがとうございます。ちょっと
00:53:25	どこまで工夫できるかが今ぱっと言えないんですけどもちょっとできる範囲で、工夫できるところは工夫してよりわかりやすい資料にしたいと思いますありがとうございます。
00:53:38	はい、規制庁すべきですけどちょっと概要で概要から本店、或いはその本編から補足のどのページに飛ぶのかっていうのを、最後、見ながら、
00:53:49	ですかねそのあたりは、
00:53:54	なんつか、どこ、実際の説明とか、補足資料のどの部分を使うのかで、ここはちょっと、
00:54:00	ピンポイントでちゃんと飛べるようにしてくる。その際、工夫の仕方だけなんで、多分今は、全体の作り込みをするっていうところから、とりあえずあと、補足で映してるので、
00:54:11	ここは、
00:54:12	適宜やってもらえばいいかと思います。
00:54:15	中部電力の岩瀬承知しましてありがとうございます。
00:54:26	谷です。ちょっとね教えて欲しいんですけど、今の11ページ12ページで、
00:54:32	結果がこう並んで、
00:54:35	PDFでもぴったり合わせてくれてるから、見比べやすいですねクリクリやっていったらページが、それを見ていくと、何か
00:54:46	赤線の方、表情とスペクトルの方の水平動の。
00:54:51	何秒かへ222秒以降とかって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:55	これなんかこうクリックやっていくとちょっと線が違うそうに見える水平度ね、これって変わってくるもんなんですけど今のその、
00:55:03	フーリエの比を掛けたっていうやり方をした時、
00:55:09	M 電力の岩瀬です。フーリエでかけてますので、応答スペクトルは複数の周期があるので、ほとんど変わりませんが、若干、長周期側も変わってます。
00:55:22	増幅かける場合と書けない場合で、この辺多分施設への影響どうのこのってレベルではないと思ってるんですけども、どうしても応答スペクトルで各党多少差は出てくると。
00:55:36	やっぱりこれあれですか 2 秒以降とかも違いが出るってことですね。これなんかね、
00:55:44	鉛直を見てると思う。ほぼ、ほぼほぼ、ほぼほぼというかぴったりなんで、
00:55:51	水平だけ何かそういうのも出るような、ちょうどそんな
00:55:56	計算結果になってるっていうことで、
00:55:59	理解しましたけど、
00:56:01	今僕が気にしてるのが
00:56:06	中部電力の石川です。すいません、15 ページを見ていただきますと、
00:56:10	この実線と点線で増幅ありとなしが書いてあって、私の水平動の方が 2 秒以上ちょっと差が出てるように見えるんですけど、すごくよく見ると、鉛直動の 2 秒ぐらい持ちちゃった時
00:56:23	点線と実線でちょっと、
00:56:25	見づらいんですけど、差が微妙に出ておまして、
00:56:29	多少影響が出ております。
00:56:32	わかりました。解析上もそうなるのは、
00:56:36	普通のことというか、私はそんなの詳しくないっていうのもあるんですけども、
00:56:42	はい。確認できました。ありがとうございます。
00:56:49	規制庁サービスでちょっと関連して、いや同じようなことなんですけど。
00:56:56	これ多分、
00:56:57	両方の関係なんですかね。
00:57:00	それとも何か PDF 化の影響なのかなと思って。いや今の 11 ページ等は女 g。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:07	ものを使ってると思うんですけど、例えば 27 ページ見るとですね。
00:57:13	若干値なんですけど、1 秒以上のところで、
00:57:18	これ、レベル感が、
00:57:20	違うようにも見えるんですけどこれおんなじですよね少なくともおんなじものを使って、
00:57:26	11 ページの赤線と、
00:57:29	27 ページの水平の、
00:57:34	黒、黒線ですよね。
00:57:36	なんかですね。
00:57:38	ちょっと 1 秒から 2 秒辺りとか、
00:57:42	これ何秒だろう、33 秒、2、
00:57:46	3、3 秒から 4 秒ぐらいのところ層面なんかちょっとレベル感が違うように見えるんですけど。
00:57:52	これって何か。
00:57:54	なんで違うんですかね。
00:58:00	中部電力の石川です。このデータは同じものを使っているんですけど、
00:58:05	例えば 11 ページは、重ね書きをしまして、それで重ね書きをして、エクセルから貼り付ける時に微妙に図がずれることはちょっと確認をしておりますし、
00:58:17	ただその辺が、
00:58:20	出てしまっているのかなとは思うんですけど。
00:58:24	ちょっと何回か試したんですかなかなか。
00:58:27	直しようがなく、
00:58:29	データとしては合ってるので、そちらをこれについて掲載していると。
00:58:35	はい。規制庁さん、わかりましたから、ちょっと編集の過程で、ちょっとずれちゃったっていうようなことあるんですけどいずれにしてもこれおんなじデータとして示されているということでよろしいですね
00:58:52	中部電力の石川ですはい。この事例とかって言います今おっしゃられたのを、11 ページの
00:59:00	規制庁檀ですけども三、四秒とかですねページの、
00:59:06	黒線の三、四量、多分、
00:59:11	わかりやすいところで見ると、だからこれ、どっちが合ってるのかちょっとわかんなくて、いわゆるその 200gal の線ありますよね。
00:59:21	200gal の線、右、右、右の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:25	縦軸のところに 100 って書いている 200 あると、このちょうど赤線が交わりそうなところ。
00:59:32	を見ると、11 ページってのはちょっと離れてるんですけど 200 があるのと、
00:59:37	これ 27 ページ見ると、ほぼほぼくっついてるんじゃないですけど、
00:59:43	なので、この 200gal の線がずれてるのかといやちょっとごめんなさいいろいろ、
00:59:48	わかんないんですけど少なくともわかりましたの状況わかりました。
00:59:53	はい。同じように、ごめんなさいね本当に細かくて、これもう 11 ページの今度、
01:00:00	鉛直度の緑の留萌なんですけど、これも 78 ページの、
01:00:07	これデータは一緒にいいですよ。
01:00:11	おんなじこれ 329。
01:00:14	があるの。
01:00:16	もので、
01:00:18	これも何か、
01:00:19	ごめんなさいね、0. 何β2、3、
01:00:25	4 秒から 5 秒ぐらいにちょっと下に凸になってるところありますよね。
01:00:29	ほぼほぼ、
01:00:31	20 款院の線と重なるか重ならないかぐらいのところ、ここもレベル感が例えば 11 ページはとり 10 回なんか届いてなさそうにも見えるんだけど、
01:00:42	78 ページだと、これ 20 件超えてるようにも見えたっていう、ごめんなさい、細かいことで飯泉さんこれ、
01:00:49	おんなじデータで 1 ですよ何かちょっと描画の関係とかそういう関係でちょっと何かずれてるように見えるかもしれないんですけど。
01:00:56	同じデータっていうことでよろしいですよ。
01:00:58	中部電力の石川磯のデータとしては同じものを使っております。
01:01:04	わかかりました。ちなみにだから、桃井の場合は、だから何でしたっけささらなる。
01:01:12	保守性を考慮したというので最後に何か吸う方知ったりしてるじゃないですか。
01:01:17	その辺でひょっとして、
01:01:22	どっちをどっちかわかんないんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:24	この中、11 ページのほうは足される前のものが、何かグラフとしては書かれてるとかそういう話ではないですよ最終最終。
01:01:35	的な結果として、
01:01:38	11 ページは、
01:01:40	78 ページと、
01:01:42	同じデータが、
01:01:44	内入れられていると。
01:01:47	いうふうに見ていいですよっていう、ごめんなさいすごく細かいことで、
01:01:55	電力浜野でございますデータの方をしっかりと確認しておるので、間違いないと認識してございますが、
01:02:03	ちょっと佐口さんにお渡ししてる、A4 の、
01:02:08	見開きのやつは、私ツインワードやってて、いわゆる印刷型機のずれなんていうのも当然入ってくるもう 1 回、
01:02:17	審査前にデータの方はしっかりと確認しときますけど、そのあたりはちゃんとエビチェックもしてますので、良いと思っておりますので、
01:02:27	赤と緑と黒ってこういう話を、視覚的沙織なる効果みたいのもあるかと思えますんで、間違いのないデータとしてはお渡ししていると、いうことは確認してございます。
01:02:49	規制庁原田です。
01:02:54	よろしいでしょうか。敷地、142 ページで、敷地における
01:03:01	増幅特性の分析で、
01:03:02	右下の図で入社下方等の振幅秀で。
01:03:06	敷地直下と敷地近傍と 2009 年駿河湾の地震があるんですけど、その例えばその左の
01:03:16	左下の図で、にあるように静岡、
01:03:20	A とし、神奈川県西部の地震静岡県東部の地震伊豆半島の地震でも、この増補が見られるってあるんですけど、これの、
01:03:30	入射角がどうなってるのかを知りたいのでここにプロットしていただきたいと思います。141 ページの到来方向には、
01:03:42	プロットされてるんですけど、この入射角の方には、
01:03:47	2009 年駿河湾の地震しかないので、できたらその
01:03:53	神奈川県西部の地震と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:55	という半島の地震と静岡県東部の地震の入射角をプロットしていただきたいと思います。
01:04:33	記事をすべきですけど、何のことを言われているか。
01:04:38	変わってなければもう1回言ってもらいますし、
01:04:43	少し頭の中を整理しているのであればちょっと待ちますけども、
01:04:49	中部電力の岩瀬でちょっとついていけないってないところもあるんですけども、これは我々が分析してここで示している外の、
01:05:03	記録について言われたのかどうかはわからない。すいません。違います左下、この142ページの左の一番下の図の広域の次。
01:05:14	入ってる。この赤で記されているような、静岡、伊豆半島の地震とか、
01:05:22	いえ、
01:05:22	何、神奈川県西部の地震とか、静岡県東部の地震がこれ、
01:05:28	青ではなくて赤とか緑になってますよね。
01:05:31	これらの地震の入射角を、
01:05:34	この右下の図に入れて欲しいと思ってるんですけど、
01:05:47	中部電力の岩瀬です
01:05:50	結構敷地から離れたところのこと。
01:05:53	こう言われてますよね。そう。それが、例えばその、この離れてるんですけど、
01:06:02	この後の、
01:06:05	例えば149ページの、されているこのシミュレーションの範囲に入射角が入ってくるのかどうかとか、そういうのを
01:06:16	東京、
01:06:17	が、
01:06:18	ちょっとわからないので、これらのそのせえと伊豆とか、この静岡とかの地震がなぜ、なぜ増幅しているのかっていうのを、
01:06:29	知るためには、この入射角を、それらの地震の入射角を、
01:06:34	ここにプロットしていただくとわかるのではないかと思います、
01:06:52	あ、そうかもしれない。多分左の図の目的と右のところの目的があるて、現状は書いてないんだけどっていう多分そこからなのかな。
01:07:06	今入ってまして。
01:07:10	到来方向には入ってるんですけど、その入射角の
01:07:14	2は、図には入ってないのはどうしてかっていうことなんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:19	中部電力の岩瀬です 142 ページでその辺を分析していないのは、駿河湾地震のあたりのもとの増幅。
01:07:30	顕著にしてるところがよくある意味記録でよくわかってるところから、敷地に近いところを、これ分析してる関係で、
01:07:38	入ってないというのがこの分析の中ではそうで、それ以外のところについてはあまり細かい特に遠いところ、とところ、ここだと伊豆の向こう側になると、多分地下構造通ってきて入射角の議論も、
01:07:54	実はなかなか難しい。
01:07:55	伝播の経路もなかなか難しくて、
01:07:58	輸送簡単に分析できるとは思ってないんですけども、我々そこを分析、
01:08:05	するには敷地の近くのところの評価を重視している関係上、そんなに重要視していなかったので特に分析は必要ないと考えてたんですけども、
01:08:19	何か特別な、
01:08:21	理由があるんでしょうか。
01:08:27	理由というか、
01:08:28	そう言われますと
01:08:32	そうです。どうしか言えないですけど例えば 1412 ページの到来方向にも入ってるんですけど、それでまあ、その辺、142 ページの左下の図ではこう赤になって増幅しますって書いてあるけど、
01:08:47	これは何でなのかなっていうのを、
01:08:51	が示されてない。
01:08:53	ていうか、は、
01:08:55	どうしてかなというのがなんですけど。
01:09:07	うん。
01:09:09	難しいのであればわかりました。はい。
01:09:23	規制庁津島ちょっととりあえず今現状はどういう整理で、今は書いていないっていうのは、はい、わかりました。はい。
01:09:38	はい。今ちょっと冒頭の、
01:09:41	概要の関係から入ってくるところは、
01:09:44	ちょっと一旦よろしいですかね。
01:09:46	そうすると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:48	後ろの 10 数ページ以降、18 からは、とりあえず概要で書いたことがそのまま
01:09:57	書かれて、標準応答スペクトルと変えてきたところは、
01:10:02	25 この辺りは変わって、
01:10:05	でなくて、
01:10:08	模擬地震複数の方法による、
01:10:12	検討のところをちょっと変えてるのかな。
01:10:17	て乱数位相を主体で考えて、もう一方の観測位相の方もやりますよということ、
01:10:24	34。
01:10:26	ページですかね。
01:10:29	これは今回異動どうしたのかというと、
01:10:34	これは、
01:10:36	急に何か野田が出てきて、
01:10:39	織田の
01:10:41	振幅包絡線の主要部の継続時間って言っているこの 13 秒っていうのは、
01:10:49	これはどこから持ってきたんだと。
01:10:53	これは何ページのところから持ってきたんですかね、これはちょっと待ってくださいね。
01:11:00	急に多分ここで 13 秒とかって出てきてるんですけど、これ 25 ページの、
01:11:07	PC16.3 から TV3.7 を引いて大体 13 秒ですそういうことですかこれ。
01:11:15	中部電力の石川ですはいその通りでございます。
01:11:32	読み方としては共振部の継続時間後の総代達に選任の方法による、
01:11:39	振幅包絡線の主要部の継続時間、
01:11:43	ていうのがさっき 25 ページで言う。
01:11:45	そっからはじき出した別の約 13 秒とですね。
01:11:50	それを元に比べると、ていう比べ方にこの 13 秒より長いか短いか未定ですか。
01:11:58	それとも、
01:12:04	長いか短い。確かにパッと見て -13 秒が、野田の 13 秒があるかないか抜きにして、
01:12:12	大体波の形を見れば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:14	ていうことなのかもしれないですけど、
01:12:18	ちょっとこれが、次。
01:12:53	そう。そういう意味で、
01:12:57	うん。
01:12:58	これ何、6円。水平600鉛直。
01:13:03	400、
01:13:05	ていうのをこれ、
01:13:07	34ページの方でもそれを見て、
01:13:10	13秒より長いかわりかかっていう確認をしているんですかこれ。
01:13:23	中部電力の岩瀬です。ちょっとこちら社内でも議論をしまして、主要動部といったときに、
01:13:29	何か主要動部の伴最大加速度の半分という形で、果たして今度定義しているのかが、
01:13:36	難しいところがあって、そういったときに、もっと端的にわかりやすく示す方法はないんだろうかという視点で、もう一度考え直してきた結果としては、これもともと茂木派の方が、一応乱数の方が、野田で作っておる。
01:13:53	いるもんですから、この野田のでも作っている主要動部というものは定義がはっきりしているので、そこの部分と、ガイドラインにして比較する、すれば、
01:14:06	大きな振幅が繰り返しているようなところが、見た形でご理解いただけるんじゃないかということで、ちょっと少し表現方法も含めて、私記載を変えてきたと。
01:14:20	そういう趣旨でございます。
01:14:30	で、そうするとこの、
01:14:33	34ページが一番すぐの位相を用いた方法の水平動の使用度の
01:14:40	継続時間は、
01:14:42	どういう見方をしていないんですか、これ。
01:14:45	一応、主語を見ると、
01:14:47	供試分の継続時間は野田をもとに比べると、
01:14:51	長いと言ってるんで、
01:14:54	これは両方持って600400その、
01:14:57	より大きい。
01:14:58	ところの時間を一応見ようとしているんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:21	中部電力の岩瀬です。ちょっと主語の置き方が悩ましいところではあったんですけども、
01:15:27	時刻歴は系の共振も要は繰り返して振幅が大きいところの部分は、こっちの方が、こちらの方が、長い時間あるよということで長い短いと言っていて、
01:15:41	共振分の継続時間っていう言い方がちょっと誤解を招いてるというか、
01:15:49	この言い方をすると、共振分の継続時間という形で何らか、明確に定義をしているようには確かに読めてしまうので、今日深部について見ると、こちらの方が
01:16:04	ちょっと長い短いがいいのかっていうのが今度出てきますけれども、振幅贈り大きくなるところが比較的長い時間あると。
01:16:14	いう形で少し表現を、
01:16:17	変えればご理解いただけるでしょうか。
01:16:34	うん。ちょっと中瀬。
01:16:42	そう、何かおおよそなんか仕様ですね、最大加速度のおおよそ2分の1というような表現を、
01:16:49	イメージで作ってるサイトもあればなんですけど、
01:16:53	なるほど、なんかちょっと読み解くと、出せない。
01:16:58	あれ田嶋さんか、ごめんなさい、どうぞ。
01:17:03	ちゃん田嶋で、こっちは多分、二つ目の丸が、
01:17:07	この文章としてなかなか理解が難しいのは、野田の方、包絡線で作った方の地震動は、一応乱数の方は主要動部の継続時間を、
01:17:20	もちろんそう設定してるので、示している一方で、実観測記録の主要動部っていうのは特定していないので、何と何を比較して長い短いを議論されているのかって説明したいかというのがこの文章だと。
01:17:37	わかりにくいという状況かと思いますが、いかがでしょうか。
01:17:52	ごめんなさいそこでこれがいいか悪いかとりあえず置いといて、
01:17:56	それで何ですかこれ一応だから、もともと野田で作った。
01:18:00	野間 13、約言う 3 度というのがあって、
01:18:03	上の一応乱数の方はこれを、この範囲内を超えて大きな振幅がありますので、過日観測記録はこの 13 秒の範囲内で、
01:18:13	大きな振幅がおさまっていますっていうそういう、
01:18:17	アバウトな、て定性的に見て、いえるんですけどっていうそういうことなんですかね。別にそれをいい悪いは、この場で言いませんけど。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:18:42	衛藤田嶋です。先ほどの文章に、二つ目の丸の件。
01:18:48	いかがでしょうか。
01:18:49	ちょっと枕さんからそういうような話があって今ちょっと通信状況よくないようなので、
01:18:56	ちょっと代弁して、今聞いたような感じなんですか、ちょっと鈴木。
01:19:01	さんからお話ありましたが、
01:19:05	中部電力の方いかがでしょうか。
01:19:08	実際にここ、ごめんなさい今もしているが悪いので二つ目のマルCを東部の
01:19:15	時間と比較する対処対象が特定されないで、先ほど私が見てたら同じことを言っていたり、今、
01:19:24	それぞれを言いましたけれどもちょっと鈴木さんからの発言が間に入って、そういうことですね。はい。はい。いかがでしょうか。はい。
01:19:34	いかがですかね。
01:19:35	ここ。
01:19:36	今のこの使用道具の時間と比較する対象が特定されてないんでよくわからないんですけど、
01:19:43	いう部分ちょっと今読み上げましたけどね、通信があんまりよくないので、
01:20:02	ちょっともともとのコメントも含めてですけども、
01:20:08	もう少し明確に比較しやすいように特定する。
01:20:13	形に見、
01:20:15	なるようにちょっとここら辺を修正したいと思います。
01:20:30	はい。一旦ここは取るってということですかね。はい。
01:20:36	どうしますか、ちょっと聞いてきます。
01:20:39	規制庁佐口ですけど、同じページの34ページでは河田Cは、
01:20:47	もう1個下の三つ目の、
01:20:49	丸が、
01:20:50	ちょっとよくわからなかったんでここを教えていただきたいんですけど。
01:20:55	最初の1行目d、
01:20:59	大きな差異は認められないと言いつつも、そのあとまた大きな差異は認められない中で、
01:21:08	一応乱数の位相を用いた方法による地震動方がやや大きいというのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:21:12	どういふことをおっしゃっているのかが、
01:21:15	ちょっとこの文章からは、
01:21:18	おわかりならないので、まずこれがどういふことを、
01:21:23	をおっしゃってるのかちょっと教えてください。
01:21:30	中部電力の岩瀬です。最大加速度としてそんなに大きな差だとは思っていないけれどもあえて比べるならこちらの方が大きいよということを、
01:21:40	お伝えしたくて、書いてある記載になります。
01:21:49	はい。規制庁佐口です。衛藤。
01:21:52	いや、なぜお聞きするのかっていうと、
01:21:56	結局二つ目の丸もう三つ目の丸もそうなんですけど、
01:22:01	ここに差があるから、
01:22:04	本社は一応乱数のものでいっておっしゃってるんじゃないかなかったです。つけという、それで先ほどの、
01:22:12	二つ目の丸と、三つ目の丸が、ちょっと何か言ってることがあまりよくわからないっていうのと、
01:22:19	特に三つ目の丸が、
01:22:22	御社、
01:22:23	差がないって考えているのであれば、
01:22:26	結局、二つ目の丸の、この継続時間が長いということだけをもって、
01:22:33	一応乱数でいいんですっていう、そういう理解でよろしいんですかね。
01:22:43	電力の岩瀬です。この35ページのところに整理していることって二つのテーマがあると思ってまして、一つは電波への影響。
01:22:54	が、あるようなものなのかどうかっていう観点で、影響がないよねと言ってる中で分析してる内容等、これどちらを代表として使うのかと言ってる、代表性の中で、
01:23:06	どう見るかと言ってるものを、35ページの黄色いところの二つ目と2つめで書き分けてるつもりなんですけれども、そこで視点が変わるものですから、
01:23:18	ちょっと表現が、
01:23:20	同じ評価結果を見ても、大きな差異が認められないという見方をすると、あえて比べると、こちらの方が最大加速度は大きいよねという、
01:23:31	両方の表現が出てきてしまうということだと思うんですけども、これだとちょっとわから、わかりにくいということでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:23:40	はい規制庁佐口ですけども、これ以上はもう議論になるのであまり言わないんですけども、
01:23:47	当然二つの考え方があって、
01:23:50	と同じぐらいなんで二つあって同じぐらいであれば、どっちをとってもいいよねという考え方もあるし、二つあって両方とも同じぐらいだったら両方とも採用する、すればいいんじゃないっていう考え方もあると思うので、
01:24:04	その中で少なくとも御社は、
01:24:08	二つのうちの、
01:24:09	差があるので、一つでいいんですよというご説明をされているんだと。
01:24:16	思っていたんですけども、そうではないのかなというちょっと今の表現ぶりで、
01:24:22	どうかなと思ったのでちょっとお聞きしただけなんですけど、少なくとも御社は、
01:24:27	差があるんで、一応卵巣だけでいいんですよというご説明をされたいのであれば、
01:24:34	ちょっと今の、
01:24:36	記載は、
01:24:37	うん、わかりづらくなってというのが、
01:24:40	今お聞きした趣旨なんですけどね。
01:24:45	中部電力の岩瀬です承知しましたご懸念の点は理解できましたので、
01:24:55	基本的に最終的にはなきやいけないことは、35 ページの黄色いところの、またで書いてる三つ目だと我々も思っていますので、そことむしろ整合をとるように 34 ページの
01:25:10	記載はそちらに、が伝わりやすいように修正をしてその上でちゃんと 35 ページの二つ目のマルも記載させていただくという形で、どちらに重きを置いて、わかりやすく示すかというところで、整理をしたいと思えます。ありがとうございました。
01:25:37	あと、次で教えてもらいたいんですけど、多分 35 ページが最後そのまとめという形になってるんでそこの関係でいくと、やっぱり 34 ページの一行目も、
01:25:47	何ていうか比較して最後、その妥当性の検討の、
01:25:52	一つとしても上がってるんですけど、
01:25:55	これ括弧が括弧括弧になってるんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:59	これ一番上のやつは加速度時刻歴 8K の振幅包絡掲示を、それぞれ、大体イメージで頭の中で思い描いてくださいというものがあって、
01:26:11	両方法等、両方でカッコとるによる地震動とも、
01:26:18	これはだから一応乱数の、
01:26:20	解放基盤と一応乱数の地震基盤、
01:26:25	DIS 観測の地震保険等実観測の地震基盤、
01:26:29	同士を比較して、
01:26:31	しない悪い地震基盤と解放基盤のところで、形が変わってませんで、
01:26:37	そそういう日本語を読めばいいですか。
01:26:42	中部電力の石川です。はいその通りで、一応乱数同士率観測記録同士を比べて下から上に上げた時に、
01:26:50	衣装によって大きく変わりませんよということを表示してございます。
01:26:56	いやごめんなさい。一応乱数と実観測の方での比較、これ 1 ポツ目はしてないというふうに、
01:27:05	読んでるんですけど、
01:27:07	情報法による地震動とも、
01:27:10	ちょっと待ってこれ、
01:27:16	これ日用乱数と DIS 観測の方での振幅包絡形状も比較しているし、それぞれの大地震、それぞれの方法同士の中での、
01:27:26	地震基盤と解放基盤の比較もしてるって、そういうのがいいですか。
01:27:32	中部電力の石川です。一つ目の丸については
01:27:36	一様乱数だったら一応乱数率は早期遅れた自主監査記録。
01:27:40	だけど乱数使わせるというふうな比較をしているというものではありません。はい。
01:27:47	なるほどね。はい。でこの断面になって一応一応 1 市大戸 1 号がちょっとすいませんかぶっちゃいますけど、一応この大井断層技術観測位相用いたものとの比較によるだとホンセイ。
01:28:01	検証の断面ではあるんですけど、一応、この
01:28:04	D1 を乱数での、
01:28:07	下と上で変わりませんというのは一応、この、この断面で、
01:28:11	この、この 34 ページの断面で一応確認してるわけですね。わかりました。読み方は理解しました。
01:28:58	あとちょっと、標準応答スペクトルの方はちょっと一旦留萌行きますかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:05	留萌の方も、3940 細かいようですね。ここから先も、
01:29:12	大きくは、下へ、
01:29:14	でなく、
01:29:17	4、
01:29:18	どこだっけ、何か気になったページが、
01:30:12	また、
01:30:13	谷です。
01:30:15	えっとね 77 ページと 85 ページ
01:30:20	両方入力は、出力はって書いてるんですけども、
01:30:26	この入力は出力はっていうのまず 7 の入力はと、何の出力はなんですけど、
01:30:38	中部電力の石川です。
01:30:40	入力にはつきましては、その 75 ページまでで、留萌の基準、基盤地震動については、追加検討してまして、そのうち、水平鉛直災害のものを、
01:30:53	基盤相当面に入れるというところで、それを、
01:30:57	その基盤側に入力しているというその最大のものが入力始まります。それを解放基盤表面で衛藤 1 元
01:31:05	の波動論を使ってあげて、A と評価したものが出力になっております。1 次元の解析の入力法とするコード、これ 85 ページも一緒なんですか。その関係は、
01:31:23	中部電力の石川さんの 85 ページも基本的には一緒ですけども、
01:31:27	入力は今井氏をし、説明した通りに基盤実施基盤に入れたものになってまして、渋川 1 次元で評価したものに増幅係数を掛けた。
01:31:39	ものになっております。
01:31:49	あ、ごめんなさい。
01:31:52	は、77 ページの入力
01:31:57	はと。
01:31:58	85 ページの入力はこれはだから同じものちゅうことですね。
01:32:04	これ自身、地震基盤、
01:32:06	地域場じゃないごめんなさい。
01:32:09	違う。
01:32:10	港町観測点。
01:32:12	相当に入力したもので、これ同じということですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:17	中部電力の石川です。はい。その通りなんだと、85の入力は同じものとなります。85ページの出力は、
01:32:28	これは、一旦間に77Pの質量副歯があって、それに増幅係数を掛けたものを、
01:32:39	はい。その通りです。
01:32:45	あ、岩瀬とちょっと補足すると85ページのところはもともと、
01:32:50	そうなんですけど、入力には対して、地盤モデルの伝達関数を補正する形でデータの増幅係数を掛けるという概念の説明で、
01:33:02	そちらに整合してわかりやすいように整理をしたんですけども、今、概要のページでは、顕著な増幅を考慮しない方に対して増幅係数を掛けると。
01:33:14	いうことで説明がわかりやすくしておく関係からすると、今ご指摘でわかりましたけどこれ逆にわかりにくい。
01:33:23	説明になってしまっておりますので、ちょっとここで示すべきものと判例の書き方については、ちょっともう一度整理をして訂正させて修正させていただきますと思います。
01:33:34	ご指摘ありがとうございます。
01:33:37	そうですね。多分それぞれその上の箱書きにあるものの、多分どれかが入力でどれかが出力なのかなと思いながらこう下を見て、
01:33:47	ので、普通に読むと、はい。
01:33:50	多分検討に検討サンナンだったっけって前に戻っていくと大体、検討2とかのケアの検討参加っていう形で、
01:33:58	出てくるので、はい。
01:34:10	あと増幅ありもなしもう最終的にちょっと端数を家で上げてるじゃないですか。
01:34:18	それは、
01:34:21	多分資料読んでいくと、
01:34:24	増幅ありもなしもまず一旦はその最後エイヤで切り上げる。
01:34:29	前ですよ。前。
01:34:31	Bやで切り上げる前で一旦非船員393とか1432と過去は数が出ているもので、それぞれ出して、あとはそれぞれごとで、
01:34:41	顕著な増幅な作業エリア、顕著な増幅あり、で、
01:34:45	そのエリアで上げた後に何か増幅係数かけてるとかそういうことだって当然しないわけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:50	ちょっと言ってることわかりますかね。
01:34:53	どういう手順でやったかの最後確認なんですけど、中部電力の石川です おっしゃる通りで、
01:34:58	増幅なしの方は、解放基盤表面、
01:35:02	そういうものを評価して、それをエリアで上げていて、
01:35:06	増幅ありの方は、上げる前のものに増幅係数を掛けて、そこからまた
01:35:12	いうふうな、
01:35:13	なんで、増幅なしのエリアで上げたものを、さらに増幅係数を掛けてさ らにエリアで上げてるということではないと。
01:36:00	中部電力の岩瀬ですまさに 85 ページ、手順としてもちょっと、どう書 くかは、県、適正化を図りますけど、85 ページのところの、
01:36:11	顕著な底を考慮しない方の解放基盤表面における地震動の評価結果と言 っているものが、そもそも何を指しているのかが、適時されていないっ ていうことが、まず最大の問題だと。
01:36:24	思いますので、そこが
01:36:29	あと上げる前のものだということが表現も含めて、ちゃんとわかるよう に、少し適正化を図りたいと思います。
01:36:37	多分、85 ページのところは少なくともどこを引いているのか、何に対し て欠けているのかが明確になってないということだと思いますので、そ こは修正させていただきます。
01:37:13	ごめんなさいじゃちょっとせっかくデータ今この 40 ページの⑤。
01:37:18	これ⑤の解放基盤による地震動評価って言ってるあれこの中に浅井をエ イヤで切り上げたやつもはい。
01:37:25	ている、いない。
01:37:30	別に、どっちがどっちの整理でもいいんですけど、
01:37:36	岩瀬です 40 ページのところは評価のやり方の整理をしていて、エイヤ ーというふうに挙げる保守性の考慮のところは、
01:37:47	これちょっと地震動評価体系として書くものではないという我々の整理 で、そこはちょっと別枠という形で今整理をしております。
01:38:13	別にここの辺りプラスアルファ家を書けと言ってる意味じゃないので、 はい。
01:38:18	大体 1 から 5 の流れと、どこからどこに対して、増幅の話が、
01:38:25	横目で見ると存在するののかの頭の中ではイメージができました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:20	はい。どうですか他にまた岩手宮城とか他のところ戻っても結構ですけど。
01:39:26	全体を通して、
01:39:30	後は、ちょっと自分の区の方も
01:39:34	さっきの補足とかの整理とか或いはプルト増幅の、ちょっと離れたところ、
01:39:40	入射角の整理とか、多分これも、
01:39:42	次の会合までに、いわゆる直すことちょっともうちょっと持ち帰って、
01:39:47	まとめ資料とか作るまでの間に、構想のところは多分、検討されるんだと思うんですけど。
01:39:52	そこら辺
01:39:53	どのぐらいの
01:39:56	作業があるかっていうところは、
01:40:00	いわゆるすぐ直すもの少し時間をかけてちゃんと整理しておきたいのはあまり今回の
01:40:08	ところでの説明であまり使わないので、
01:40:10	少し時間かけて考えますって、ちょっとそこら辺は少し持ち帰って考えてもらうとして、
01:40:16	ここは全体通してこちらからの質問、或いはちょっとそちらから、
01:40:21	ちょっと、どこまでやりますかというかな、何かで確認しておきたいものがあれば、
01:40:28	田丸。
01:40:28	中部電力嘉門でございます。ありがとうございます。
01:40:33	審査会合に諮っていただくっていう観点で、今日、特に概要から、本体資料の部分のところで説明させていただいてないような部分はしっかりと対応させていただきますし、
01:40:47	補足への紐づけ、或いは補足にしかなかったの本体持ってくるといったところは、すぐ対応いたします。
01:40:55	あんまりその時間かかるところっていうのは多分、
01:41:00	今んところ感じてはいないんで、どっちかというすと、先ほどの一応乱数と実観測のところ、もう少しわかりやすくするかなとは思っておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:41:13	方向性としては先ほど佐口さんからご確認いただいたところで、私たちの考えとは合ってますのでちょっとそんなところがしっかり読み取れるような、
01:41:25	整理にしたいと思ってまして、いずれにしても可能な範囲ではもう来週、はい。
01:41:33	多分、いいです。
01:41:35	はい。
01:41:36	資料提出までに織り込んで参りたいと考えてございます。
01:41:42	調整官どうぞ。
01:41:46	規制庁の名倉です。
01:41:50	ちょっと音量は小さいかな。
01:41:53	小さいですが小さいボリュームが小さい。
01:41:57	そうですか。これ聞こえませんか。聞こえます大丈夫です。
01:42:01	大丈夫ですか。
01:42:03	5 ページのところに
01:42:08	地下構造を用いて評価した地震動と、顕著な増幅を考慮して評価した地震動が並列して二つの箱があって、
01:42:17	その使い分けに関して、
01:42:20	あまりこう勉強されていなくて8 ページのところで、
01:42:25	四角書きの一つ目の丸印のところで、
01:42:28	5 号機、5 号炉周辺の観測点のみで地震動の顕著な増幅が見られることを踏まえ、
01:42:35	って書いてあるだけで、ちょっと使い分けがですね、特定する方の議論を聞いている人にとっては当たり前のことかもしれないんだけど、例えば154 ページの、
01:42:46	顕著な増幅を考慮する範囲と考慮しないよう、領域との境界とか、こういった図が実は全くなくて、
01:42:57	使い分けが全く書いてない状況なので、ちょっと基本的な情報としては154 ページは特定する方のルールかもしれないけどもこういった図を所長、
01:43:09	最初の方に、8 ページとか、その周辺ですかね。
01:43:13	入れて、わかるようにした上で使い分けをちゃんと明確にした方が、資料としてはわかりやすいんじゃないかなと思いますので、ここら辺ちょっと対応していただけたらなあと思います。これは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:29	最初の方で田嶋さんがお話ししたことに関連する話ですけど、誰が見ても、
01:43:35	わかるような資料、
01:43:37	という意味でちょっと入れていただければと思いますがいかがでしょうか。
01:43:41	はい。中部電力天野でございます。承知いたしました。申し訳ございませんどうしても、なるべく資料のボリュームを減らして、それぞれにお伝えしたいと思って、
01:43:53	やってきたんですけど、もう名倉調整官おっしゃられる通りで、基本的にこの増幅のところ、重要なファクターですので、概要のところ8ページ近辺で、
01:44:04	わかるようにそこも織り込んだ形で資料の方をまとめて参りたいと思います。
01:44:21	はい。他、
01:44:22	よろしい。
01:44:29	規制庁佐口ですけど、
01:44:31	ちょっと細かいところ
01:44:35	ちょっとこだわるようで申し訳ないんですけど、
01:44:39	前回のヒアリングでちょっと確認をさせていただいた82ページとか、
01:44:45	なんですけど、この82ページのみ、一番右上の表ですよ、表の上のグリーン関数二乗乗じる増幅係数っていうのはこれは、
01:44:56	あえてここは残されているんですか。
01:45:01	161ページもそうなんですけど、別にこれ特定してではこういう考え方でこういうことをやっているというような説明を、
01:45:10	その上で、今回の特定せずの、これはそれを継続ケースとして用いますといった説明だったらわかるんですけどここをちょっと教えてください。
01:45:24	中部電力の石川さんの大変申し訳ございませんでしたばかりに気を取られておりましたが、上を修正し忘れておりました、地震動として共通のものとしてこのページを
01:45:33	修正するという意味で、下を修正しておりました上の方も修正したいと思います。申し訳ございませんでした。
01:45:40	はい。規制庁サービスわかりましたなので基本的にはだから下とおなじじというか、取って、理解しましてありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:57	はい。
01:45:58	ちょっと概要のところも含めて、あとはちょっと先ほどの、
01:46:04	共振分のところとかも含めて、資料のほうを修正いただいてちょっと、 ということでお願いします。
01:46:13	さて、そうしたらばですねもう一つのスケジュールの、
01:46:19	の、
01:46:20	説明と確認に入りました地震動はこれで終了ということで、はい。
01:46:30	ちょっと、
01:46:31	皆さんあとはスケジュールの話だし、地質の話なので、適宜ということで、
01:46:37	結構ですはい。
01:46:38	じゃあ、スケジュールの方ですか変わってない部分、前半部分はあまり はしょっていただいて結構ですので、地質のところとか、
01:46:47	その辺中心でご説明をください。
01:46:51	はい。中部電力浜野でございます審査スケジュールの方も、前回審査か らリバイスして特に地質のところを参考でつけさせていただいてますん でここを説明させていただきます十分弱となりますよろしくお願ひしま す。
01:47:08	はい。中部電力の大賀です。基準地震動基準津波等の審査スケジュール について、前回の5月26日の審査会合からの変更点を中心にご説明を させていただきます。
01:47:23	2ページをご覧ください。
01:47:25	資料の目次となりますけれども、5月26日に行われました審査会合にお いて、敷地の地質地質構造に関する追加調査状況について、今後の審査 会合で説明することとのコメントをいただきましたので、
01:47:39	12ページ以降に追加調査状況を取りまとめております。
01:47:45	3ページから各審査項目の審査状況と対応状況の整理をさせていただ いています。
01:47:52	こちらはですね、まず地質のところについては、現在、追加調査をして いる段階ではありますけれども、追加、
01:48:01	調査の概要について次回の審査会合で説明させていただきたいと考えて います。
01:48:06	基準地震動につきましては本日、議論いただいておりますけれども、審 査会合でご説明して、させていただきたいと思ひます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:14	4 ページの方をお願いします。
01:48:16	津波の方ですけれども、こちら 5 月 26 日に審査会合におきまして、海域の活断層による地殻内地震、それから海洋プレート内地震と、
01:48:27	津波の発生要因の組み合わせの評価方針を審議いただいております。
01:48:31	次回の審査会合では、
01:48:35	その前回西田審査会合でいただいたコメントを踏まえた海域の活断層と海洋プレート内地震の評価結果を、ご説明させていただきたいと考えておりますし、
01:48:45	またあわせてですね、2020 年 5 月の第 862 回審査会合で審議いただきました、地震以外の要因による津波のコメント回答についても、あわせてご説明させていきたいと考えております。
01:48:58	5 ページから 8 ページにつきましては、大きな変更点ございませんので、説明を省略させていただきます。
01:49:07	10 ページ 11 ページをご覧ください。こちらは 1152 回の審査会合に提示した審査スケジュールに対して、審査状況ですとか、資料の準備状況を踏まえた現状の希望のスケジュールとなります。
01:49:22	変更箇所につきましては紫文字で示しているところになります。
01:49:27	弊社としましてはわかりやすい資料適切な資料を提出に努めまして、概ね 1 ヶ月に 1 回は浜岡の審査会合を実施していただくということ。
01:49:38	取り組んで 7 月以降に基準地震動の審査、発頃に津波発生要因の組み合わせ、秋頃に基準津波の審査を行っていただいて、2023 年の秋頃から、プラントの審査再開につなげていきたいと。
01:49:51	いう前回のご説明から大きな変更はございません。
01:49:55	12 ページをお願いいたします。
01:50:00	これ以降にですね、敷地の地質地質構造に関する追加受調査の状況について、参考という形で取りまとめております。
01:50:10	まず 12 ページの方ですけれども、こちらは BF4 地点の (ア) A0 層の改革 D 層の堆積年代評価に関する追加調査結果の概要となります。
01:50:23	3 月 9 日に行われました 1122 回の審査会合で、BF4 地点の改革 D 層の評価方針をご説明しておりますが、
01:50:33	その中で、今後説明していくとしておりました火山灰を用いた検討と、年代既知の堆積物の関係を用いた検討の状況についてご説明をさせていただきます。
01:50:45	まず火山灰を用いた検討の状況ですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:49	カギカッコ D 層の中に含まれます角閃石の主成分の分析を行っております。
01:50:54	同じ化学成分を持つ粒子が一定量まとまっては確認できていませんで、カギカッコで宗に降灰層準を認めるには至っていないという状況です。
01:51:05	次に年代既知の堆積物との関係を用いた検討になりますけれども、こちらは、BF4 地点の付近で地表踏査、県土上トレンチ調査を実施しております。
01:51:18	左下の図に、その結果を示しておりますけれども、こちらの県土上で、確認した D 質堆積物の分布状況を示しております。
01:51:30	青い丸が D 種堆積物が確認できた地点、緑の、都丸のところは電子堆積物を確認できなかったりして、白色は不正性作って、不明な地点というふうになっております。
01:51:44	が、BF 地点を中心にですね質堆積物の一定の広がりが確認できております。
01:51:51	右側の図、写真になりますけれども、こちらは BF4 地点の南側で今回追加の S トレンチを行いました月数トレンチ掘削地点で確認された。
01:52:03	私服堆積物の壁面の写真となります。
01:52:07	電子堆積図としては層厚として約 2 メーター以上あることを確認しております。
01:52:13	と、この BF4 地点の付近で、追加のトレンチを複数、
01:52:18	掘削しておりますして、それらの地点から、試料分析を資料取ってですね分析を実施しております。
01:52:26	その結果は P16 ページのところ示しておりますして、
01:52:31	これまでの審査において、BF4 地点の試料分析結果をご説明してきておりますけれども、
01:52:38	改正生物化石、それから海由来の改正成分である飯尾、
01:52:43	また寡婦等につきましては、従前の説明を上回るような量は確認できていない状況でして、過去 D 層の堆積年代や堆積環境を補強するように、
01:52:54	には至っていないのが実情でございます。
01:52:57	12 ページ戻っていただきまして、
01:53:01	そういった状況踏まえまして、江藤 3 月の審査会合でもご説明させていただいておりましたが、既存の評価方針とらわれない通追加報酬、追加調査として実施しております。
01:53:13	BF1 地点の提出堆積物から成る木曾。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:18	の上載層とした1断層系の活動性評価を行うための調査を重点的に進めていきたいと思っていますので、現状の調査状況を、
01:53:28	今後の確認項目を次ページの13ページでご説明をさせていただきたいと思ひます。
01:53:35	13ページをお願いいたします。
01:53:37	こちらの図で示しておりますけれども、黄色の箱が三つほどあるかと思ひます。この黄色い箱で記載している内容が、
01:53:48	現状の調査の中で確認できている内容になります。
01:53:52	それぞれ黄色い箱から矢印です青い箱があるかと思ひますけれども、
01:53:58	その青い発行のものが今後確認していく内容となっています。それぞれ三つの項目についての状況と今後の確認項目についてご説明をさせていただきます。
01:54:10	まず一つ目の確認項目ということで、上のほうに箱がある内容になりますけれども、
01:54:17	まずBF1地点では、ボーリング調査の結果からですね、BF地点の質堆積物、それをSK層と言ひますけれども、故障しますが、その厚さとしましては少なくとも7メートル程度あること。
01:54:32	それから、カフについても多産していること。
01:54:35	それとこのSK層の上位層がありまして、その歴史堆積物が分布していることを確認しております。
01:54:44	このSK層からですね追加の試料を採集して、火山灰、花粉分析、微化石等によって、フレア0層との対比からSK層が約十二、三万年、
01:54:56	12から13万年前以前の堆積物であることを確認していきたいというふうに考えています。
01:55:02	それから二つ目の確認項目②のところになりますけれども、
01:55:07	このBF1地点でのボーリング調査によって、このSK層直下の相良層にですね、10メートル程度の変位があることを確認しています。
01:55:18	このボーリング調査の結果につきましては、資料の15ページ、
01:55:23	下段に示しております。
01:55:27	追加で今回ボーリングを掘っておりまして、BF
01:55:32	1-4、それとBF1の5のボーリング孔においてそれぞれ相良層中にですね、行間外挿を確認しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:43	ボーリング孔間で約 12 メーターの標高があるということを確認しております、現在、この BF1 地点でトレンチ掘削を開始していますので、
01:55:53	このトレンチ調査等から BSK 層がですね 1 断層系に属する断層を覆っていること、この断層によって SK 層が変位変形を与えてないということを確認していきます。
01:56:04	それから、最後三つ目の確認項目になります。また、13 ページ戻っていただければと思いますけれども、
01:56:14	海域からですね陸域の BF4 地点まではすでに H 断層系が等間隔に分布していることを、ボーリング調査等から確認して、ご説明しておりますけれども、
01:56:26	現在検討を進めてきましたこの反射反射法地震探査の結果から、BF4 地点、北側から BF1 地点にかけても、不連続面が等間隔に分布していることを確認しています。
01:56:40	この反射法の探査結果につきましては、また 15 ページをご覧くださいればと思いますけれども、
01:56:46	15 ページの上段に示してる通りでございます。
01:56:51	現在、BF4 地点北川から BF1 地点にかけてボーリング調査を実施しております、そのボーリング調査によって 1 断層系が BF1 地点まで分布していること。
01:57:03	それから、薄片観察からですね、すでに確認しています H 断層系も含めて最新活動時期が同時時代であることを、従前の整理と同様にですね確認していきたいと思っています。
01:57:17	次 14 ページをお願いいたします。今ご説明しました BF1 地点の SK 層を上載層とした活動性評価の追加調査。
01:57:27	計画を踏まえたスケジュールとなります。
01:57:30	先ほどご説明しましたその確認項目 1 から 3 の、各調査につきましては、ここの表に記載しているようなスケジュールで進めていきたいと思っております、
01:57:43	BF1 地点のトレンチ調査、今トレンチを掘ってるんですけども、それが
01:57:49	の調査が終わったころの 8 月頃にですね 1 断層系の活動性評価の方針についてご説明させていただきたいと思っています。それから、確認項目 1、
01:58:01	それから確認項目 2 の調査結果が出揃ってきた 11 月頃から 1 断層系の活動性評価について、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:58:09	それから、確認項目3ということで、
01:58:14	内容についての調査結果が出揃い、来年2月ごろから1断層系の同一性についてご説明をさせていただきたいと考えております。
01:58:22	説明以上になります。
01:58:27	はい。規制庁鈴木で説明ありがとうございました。ちょっと前半の
01:58:32	相当部分は、最新の、
01:58:36	状況や、例としたもので、
01:58:39	10ページが、全体のスケジュールですね。
01:58:44	特定せずを今、6月中にはかけたいですというのが、直近の会議で、この間の津波の時にはありますけど、概ねその中1ヶ月、
01:58:55	1回ぐらいのペースで、地震なり津波なり、
01:58:58	期待、そういうご希望。
01:59:01	ということで、
01:59:02	今のところ、基準地震動、もうもし
01:59:07	これは結果次にいけばの話ではあるんですけど、お盆前に審議をして、お盆明けに次の必要があれば次の会合の資料出してってということで、
01:59:18	あるんですけど、ちょっとあとで地質の方で状況を確認しつつなんですけど、
01:59:26	敷地の地質地質構造なんで8月の前半に出して、お盆明けと会合ってということで、実際この辺の時期になるかは、調査を天気次第調査の次第ではあるんですけど、
01:59:39	若干、
01:59:40	うん。気にはなる時期に資料提出、
01:59:44	うか、なんていうか、会合かなあまり間があいてないので、
01:59:48	ちょっとどのぐらいのボリュームのある、その方針だとかになるか、売
01:59:55	るんですけど、何かこれヒアリングで確認するのはいつだっていう。
01:59:55	若干気にはなりますけどね。ちょっとその後で状況を見ながら、
02:00:00	確認してきますけど、
02:00:01	12ページのところでまずは現状ということでですね。
02:00:10	火山灰、BF4地点の方の状況というのが一応表で、16ページの方にも、
02:00:19	出てはいて、
02:00:21	これは、
02:00:22	今のところ、事業者の方で、この、これを指標に、
02:00:27	決める決め手になるというものがえられていないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:00:32	これも去年現地確認で、
02:00:36	伏見邸の時にも少しあった BF1 地点ですかねあの辺あたりでも少しやぐらを立ててボーリングをしてるっていうのを現地ではご説明いただいたので、
02:00:46	そちらの方を重点的にということなんですけど。
02:00:50	これ、BF4 地点の方で何か新たな試料採取とかをさ、取った試料分析とかっていうのはここ並行して動いているのか、重点的って書いてあるので、
02:01:01	それともう 1 回今全リソースを BF1 の方に、細井でますか。
02:01:06	これはどっちいだ。
02:01:09	はい中部電力天野です。BF1 地点に全精力を注いでおります。
02:01:17	わかりましたとりあえず今、今の時点というかこれからしばらくもう特に何か、
02:01:24	当然状況が変わればね、また更新も変わるんでしょうけど、今は全リソース BF1 で、DF 用の方は、
02:01:31	何とか一旦ホールドしている。
02:01:33	はい。今日の資料でも書かさしていただいている通りで、面積としての分布は十分、広げられたっていうところはあるものの、
02:01:47	やはり明確にその花粉だとか、火山灰だとかですね、決定的な証拠が全然見つからなくてこれ以上ここ軸足を置いていてもですね、
02:02:00	もともと審査の中でご議論いただいていたやっぱりな内々が似ているっていう説明がないよというところ絶対にクリアできない。要は基準適合性をクリアできるという見通しが立たない。
02:02:14	とってますので、であれば、やはりそこに、十分チャンスがあろうと考えている BF1 の方に、今軸足をしっかりと置きたいとってますんで今尾川が説明し、
02:02:26	した通りで、13 ページにある通り、正直言ってどこの部分においても、明らかにこちらの方が、データ量、中身も充実しているものですからここをしっかりと、
02:02:40	整理してご説明をさせていただきたいというのが私たちの今の方向性でございます。
02:02:50	はい、わかりました。
02:02:53	7-D。
02:02:55	7 を SK 層、これは何て言うんですかね、仮称というか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:03:01	much 違いですかねこっちですか。
02:03:05	はい。
02:03:07	森本です。
02:03:09	この発電所の立地、地点もそうなんですけど、
02:03:13	駒崎笹倉っていうところにあるによって、今回もちょっと説明のしやすさの観点から、個別に今まで BF1 地点の古屋出井層という言い方をしたんですけど、
02:03:23	ここの年代を決めてくので、ちょっと名前をつけてやった方が、
02:03:27	わかりやすいかなということで、返すケースという形で命名させてもらいました。
02:03:32	はい。なんで、一応この SK 層を最終的に、いわゆるフロア D 層となことなの。対比で名乗ってもよろしかろうという
02:03:42	これまで守ってきますという、
02:03:44	わかりました。なんで、あまり細かい調査の状況とか、どこまでっていうのは日々日々変わると思うので、
02:03:52	あの中 23 の状況は、
02:03:56	第大体というか多くありまして、
02:04:00	と言いつつ、14 ページ今いろいろとやってることがあっていうのであるんですけど、
02:04:08	これもどのタイミングで、いわゆるこのどういう論理方針で評価を、いわゆる活動性評価を、
02:04:17	していく、或いはそのためにこれを最後、
02:04:21	必要な無償として出しとっというにいてるんですの。
02:04:25	ところを、あまり手戻りないようにとすると、
02:04:28	今これ報告できるトリガーっていうのは、今現時点で、SK 層、
02:04:36	と、1 断層系がぶつかっているいわゆるその一々何断層になるかっていうのがそもそもあるんですけど、その上載。
02:04:44	そうです。ここが、ていうところはまだ今のところをボーリングで何となく、
02:04:50	15 ページのボーリングで、ここ 12 メートルの標高差が出たこの辺りに、何か 1 断層の何本目かがありそうで、そこから辺トレンチを広げると、いわゆる BF4、
02:05:02	地点の 1Q と D 層ですかね、ああいうような関係。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:07	生などっかのプリントで出てくるんじゃないか。それを一応ある程度見つけて、ここ上載地層法でやりましょうっていう、そこに、
02:05:17	一旦たどり着かないと、何か方針を説明するにも、どうかという。
02:05:22	そこがあれですかね今トレンチ調査、各 14 ページの線表でいうと確認項目②で、
02:05:28	SK 層が H 断層系に属する断層、多いっていう、この姿を、をまず見つけないことには、始まらないので、そこを見つけて、じゃあ今後どうしますかっていうのを、
02:05:42	会合で、
02:05:44	ていう、なんかそんなトリガー会合でどのタイミングで報告でき
02:05:50	議論できるようになるか、方針を議論できるようになるかと、一応そこが降り方とっておけばいいですかね。
02:05:56	はい。中部電力天野でございます。おっしゃられる通りで、
02:06:01	14 ページに記載させていただいて先ほど説明させていただいた通りで、
02:06:08	SK 層自体に、もともと杉山先生が言ってる古谷 D 層と言われてますのであとは正直でデータをしっかりそろえるというエビデンスの作業があると思いますがまず大前提として、
02:06:21	その古谷 D 層が H 断層系、あそこを切っていないっていうその状況がもう、今の適合性の
02:06:31	一番の条件です。でまだその現物を確認をしているところというところでこれがトリガーになっていると考えてます。これが掘り上がってしっかり、
02:06:43	ご説明できるという状況になった暁に、今ここでは 8 月にご報告、評価方針を
02:06:53	ご説明しようというふうにしておりますが、当然、
02:06:57	今まさに掘っているところで、この梅雨の時期です。でどこまで進捗がうまくいっていかるところは少し連行次第というところありますんで、この辺りは、
02:07:09	今後、状況を踏まえながらまた、
02:07:13	津波だとか、地自身の審査の中でこうやってスケジュールをご説明する中で、状況はお伝えして参りたいと思っておりますがまずは、そこを見つけた上で、
02:07:24	説明をしたいと思っております。
02:07:31	はい、わかりました。ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:33	もうちょっと 45 ページのところ、まだボーリング調査の方は、
02:07:40	これでおよその位置関係でいうと、W37 が、これ既存の、
02:07:50	ボーリングで、
02:07:53	BF1 地点のところを少しちょっと他のように盛り上がっていて、そこで既存の斜面のところとかで露頭とかも現地確認とか見せてもらいましたけど、あれより、
02:08:03	これ、
02:08:04	一步南側、
02:08:06	ですかね、南小グループと、
02:08:08	他円形に社名があったりするの南側のこれ確か機器はですね、W37。
02:08:14	その近くでやぐら組んでたのが、
02:08:17	これちょっと畑みたいになってるところでやぐらを組んでたのは記憶にあってですね。
02:08:21	多分ボーリングコアの観察なんかも、
02:08:23	既存のボーリングコアの観察なんかもそこに広げて、確認さしてもらった場所だと思うんですけど。
02:08:28	あそこで今 2 本掘っていて、さらに、ちょうどそこで 12 メートルの標高差があるんでトレンチを掘って、
02:08:35	いる最中と、
02:08:37	はい。
02:08:38	で、一方、反射法地震は探査の結果、確かにこれ、R04 測線なんで、
02:08:46	一応、BF1 のもうちょっと北から、BF4 のところまで、ということなんで、今のところこの
02:08:55	K1234567 本ぐらい、解釈中の不連続面、
02:09:00	というのがあるんですけど、
02:09:04	今回の地震は探査結果だと。
02:09:09	BF4 地点のところに地球があるんで、そこから多分今、
02:09:14	このある A04 測線で一番左側に出てる。
02:09:18	どこだこれ。
02:09:21	多分これ 1 幾つになるかわかんないんですけど、多分そのまでの間にも、
02:09:25	多分何本か。
02:09:27	等間隔節だとするとあるんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:09:30	これは何だ。いずれそこは追加で取るというこれは 1P、添 1P という場合ですかね、測線、
02:09:39	0、
02:09:41	多分 BF4 地点からもうちょっと北までのものが拾えて、
02:09:45	なお二つを重ねるっていうか並べてみると、一応、
02:09:50	この B1、八、九、1011121034 という形で、
02:09:56	見せるというか一応この、
02:09:59	反射法地震探査の方は一応終わってるんですかね。
02:10:04	はい。森本です。
02:10:06	まず最初の
02:10:08	ボーリングの方から位置関係ですけど、近くに来ていただいた際に、畑のところ
02:10:15	ボーリングコアを、
02:10:16	BF1 地点ご覧いただいたと思いますまさにその秦ケイン
02:10:21	がのエリアが、
02:10:22	B1 のそれが南側のところで、B1-4 が、
02:10:27	北側の既存辺りも掘ったものです。
02:10:31	そこで変位を下に確認すると。
02:10:34	でもして反射法は、計測自体はもう合ってますんで、
02:10:39	解釈自体もですね、これ
02:10:42	まだちょっと時間断面のものでして、この後進藤断面に直してやって、
02:10:47	今鈴木さんおっしゃったように、
02:10:51	既存の 1P 測線って測線図に書いてますけど、敷地の方からですね連続してる。
02:10:57	駄目とくっつけてやって総合的にどういった解釈ができるのかというのをご説明させていただきたいと思います。
02:11:03	ただ
02:11:05	8 章になりますんで、実態については今、
02:11:09	この資料でも、
02:11:12	10、例えば 14 ページだと、確認項目の
02:11:17	3 としてますけど、ボーリング調査によってですね、
02:11:21	凝灰岩層の変位がどれだけあるのかとか、衛藤断層そのものがここにあるんだということは並行して確認していくと。
02:11:29	いうことを計画しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:11:32	はい。それは、この線表 14 ページ線表でいうと、
02:11:38	だから確認の。
02:11:40	丸さんのボーリング調査。
02:11:43	当然、
02:11:46	間にある全部の 1 断層を
02:11:48	トレンチするわけにもいかんわけで、
02:11:51	ということですかね。
02:11:53	ただそれぞれそれぞれごとにあたりに幾つか、
02:11:58	はい。そうですねまず構造として、といった、
02:12:06	どこにがあるのかという絞り込んだ上で、もう断層そのものを、
02:12:10	試料採取も兼ねて宛に行くのと。
02:12:12	いう作業を今やってるという状況。
02:12:17	若干補足しますと、もともと H9 まで同一性をご説明させていただいて るようなマトリックスで評価してますので、あれと、
02:12:27	同じ仕様を埋めにいく作業を今しております。ですので、現時点において は、ひたすらボーリングを今、
02:12:36	まず業界の落差を抑えてこれ大体今押さえ終わってるので、じゃあジャ ストでこう堀に行って、そのあと薄片として、1 回しか滑ってませんっ ていうところもやるんで、ちょっと、
02:12:49	労力はかかるんですけどしっかりそちらを対応していくということで今 のところは、このオンスケで青い線ぐらいでは進んでいるところでござ います。
02:13:03	はい。はい。で、今その落差化って言ってるのは確かに、あれ、BF1 付 近の、
02:13:09	BF1415 は拾えていて、
02:13:13	婚礼のようなものを、
02:13:16	この BF4 の方に向かっていったらなかなかこのあたり、
02:13:20	西民家とかもある。
02:13:22	木内さん、地球から北に行けば行くほど民家なので、
02:13:26	と言いつつも、1 枚それぞれの、これが 1、10 だろう 11 だろう 12 だろ うというところを、
02:13:33	あたってこれ、
02:13:34	あるということです。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:13:37	はい。中部電力青沼だから、H何番ってところの同定までは行っていないんですけど、それぞれの落差がこの辺りであるっていうので順番に、
02:13:47	ジャストを当てにいきながらやっておりますんでそのあたり整理できると初めてBF1のところはH何番なのかということもご説明できるかと思っておりますので、
02:13:58	やはり作業としてはまず、先ほど申し上げたようにまずはBF1にないことには話にならないのでっていうことで対応しております。
02:14:10	はいはい。この辺り多分確認項目③のボーリングもそれなりに秋口ぐらいまで線は伸びているので、おそらく、
02:14:19	8月、今のところ8月ぐらいに方針をと言ってる時には、もしかしたら、何本かは、
02:14:27	いわゆる特定できているかもしれないし、おそらくこの間にもう1本あるはずなんでちょっと今探してるんですという条項かもしれないですけど、
02:14:35	そこは確か、今進めている話なんで、会合のトリガーとしては
02:14:41	項目にですね、項目2の
02:14:44	上載層というものが、
02:14:46	トレンチで確認されたタイミングでと、はい。
02:14:49	状況は、はい。
02:14:52	わかりました。あとはごめんなさいね。それで、
02:14:58	どこでもいい、12ページでも結構なんですけど、一応、
02:15:01	去年の秋見せていただいたところから差分というか、状況としてなんですけど、IP11のところのTトレンチがあれあのときには1、
02:15:14	1本の直線だったのが、多分形で見ると少しくうね上となっているので、
02:15:19	もうちょっと掘り進め、
02:15:21	一旦ですかね。あと、S1S2は、これは、
02:15:27	地図でいいかな。これは多分菊池に行った時には、この辺りでトレンチを掘るそうなところを掘りますと言っていた場所なので、
02:15:36	その時には、まだ掘り始めてはなかったですね、検討してたタイミングです。
02:15:41	それ以降に掘ったトレンチですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:15:46	はい。森本です。TPG につきましては、今ちょっと聞き字型といいますか、JA の反対が形といいますか。
02:15:55	そんな形になってますけど、現地確認時は
02:15:58	頭の部分だけ、
02:16:00	掘ってまして、それを
02:16:04	奥行き of 斜面側にですね、どんどん追い込んでいったと。
02:16:08	ただ分析してもなかなか、
02:16:10	言い換えられなかったというものでございまして、
02:16:13	SES1 としておりますのは今鈴木さんおっしゃった通り、当社の検討上で、
02:16:19	BF4 地点と言っているとところの南側にも、道路の広がり that 確認できてますぐらいしかお伝えできてなくて、
02:16:27	当時 PF4 の方からですね道路挟んで反対側、結構ジャングルみたいになってたと思うんですけど、
02:16:33	その辺りを本を設置して、新しく掘ったトレンチ、例えばここも
02:16:39	いい結果がえられなかったということで、今は BF1、
02:16:44	受振置いてるという状況です。
02:16:53	はい。今の現状どういう濃さを寄せるのかっていうのを透明性の観点から、
02:17:00	会合の場でもという意味なので、はい。状況はわかりました。はい。
02:17:05	すいません一通りすいません私の方から言ってしまいますけど、何か今の時点で少し気になってる方あれば、
02:17:17	戸松清です。ちょっと教えていただきたいんですけども 15 ページの PF 湾地点についてですが、
02:17:27	PF 湾の 1、4 と 5 っていう二つのボーリングで、
02:17:31	またふうのを、
02:17:33	分布に標高差があると。
02:17:36	これが断層の
02:17:40	可能性を示唆している、判断をされているということによろしいですか。
02:17:48	はい、森元です。そうですね大体 50 メートル離れてないぐらいの、ちょっと二つの項で、
02:17:56	本来であれば、水平に、これぐらい距離ならほぼ水平にたまってらるだろう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:18:02	スタッフが12メートルも閉持ってるということでこの間に、
02:18:07	何らかの断層がいる。
02:18:09	とにかく暴風揺れてます。
02:18:12	そうですねはいボーホールもやってます。スタッフ系面これ相当の傾斜してますよね。
02:18:19	はい。地域現地確認いただいたときもご説明しましたけど、今日褶曲の影響がありますので、
02:18:29	この辺りはボーホールも入れてですね、こういった方向に、
02:18:33	構図を見てるかっていうのは確認を合わせてやってます。
02:18:37	ちょっとその辺も、もう一つ教えていただきたいのは、この、この防連があればき損のボーリングでもいいんですけども、
02:18:46	反射断面で想定されている赤のH断層系をどこかで確認されてます。
02:18:57	ここに断層がありますというのをどこどこでもいいです1ヶ所でも2ヶ所でも確認されてます。
02:19:03	はい。今、それを今から確認し今やってるということですね。はい。
02:19:10	わかりましたじゃトレンチの位置ってというのは、
02:19:15	まだ
02:19:17	はい。
02:19:19	可能性の段階ってということですね。すみませんちょっと吊電鎌田でございます
02:19:25	このBF1の4と5の側で斜めボーリングも掘ってあるということは、確認はしております。
02:19:35	あとはだから、どれぐらいしっかりジャストポイントで追い込めるかというところなので、まず広めにトレンチ坑掘り下げながら、
02:19:46	ある場所に落ちつけようという作戦で進めているところでございます。わかりました。今後、
02:19:55	調査が進んできちんとしたデータが出た時点でまた判断させていただきますけれどもこれまでもですね、計画をします、こういうありますこうやる。
02:20:05	つもりですって言って、今どうなってるっていうのやってますでやりますってやりますって、もう何ヶ月の。
02:20:12	きてるんですよ。今回も、
02:20:15	BF案2、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:20:18	勢力を集中させます。東郷の15ページの図で今、私が確認させていただいて、出てない地震の間もいっぱいまである。
02:20:27	これで、もう2ヶ月3ヶ月待ってくださいって言われてもこっちとしてはね。
02:20:33	頑張ってくださいねって言いづらいですよ。その辺ちょっと、もうちょっと少し、
02:20:39	見通しがある。
02:20:41	という話をしていただければと思います以上です。
02:20:45	電力天野でございます。前回の審査会合の中で大嶋規制部長から言われました通りこれ参考で状況をお伝えするっていうことで、資料の方は絞って出さしていただく。
02:20:56	ご議論いただくような内容では出していないというスタンスでございますので、ちょっとそこは認識の違いがあらうかと思っております。しっかりとご説明する時は資料を、
02:21:07	整えますこれはあくまでも今速報としてお付けしているものです。
02:21:14	規制庁数けど、おそらく去年の6月ぐらいですかね、所若狭。
02:21:20	笠名
02:21:21	支店でしたっけあのときは何かの会合、津波ダイティングなんかの会合のときに、ちょっと調査状況みたいなあれやっぱり地質の解放として、説明を聞いたら受けてますけど、
02:21:33	今回は一応現状、現在ですよこの資料自体は、一応、最低限、スケジュール等、状況。
02:21:41	広く公に、この時点ですけどね、やってる中で出せるものっていうことなので、
02:21:48	ちょっとどこまで詳しくするかっていうところは一つの線引が、
02:21:52	ある、多分これをもとに、今の調査の方向性が良いか悪いかみたいな、そういう議論はできないっちゃうのは、
02:21:59	その通りなんで、
02:22:00	ちょっと次の次、これ出すとしたら特定せずの会合のときなので、
02:22:05	あまりその場であだこうだと、いうところは言えないし、こちらから、いやこの調査の方向性でいいんですか悪いんですかって、こちらからですね、聞かれてもそれはこちらとしても議論できないと多分そこは織り込み済みだと思います。
02:22:20	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:22:21	うん。
02:22:22	わかりました。ちょっとじゃあ、状況としては、少しはい。補足で、他に確認することあるかな。
02:22:33	谷ですちょっと確認させて欲しいのが13ページで、
02:22:38	左側に表があってBF4地点BF1地点の調査から獲られている情報の整理ということで書いてくれてるんですけども、これってあれなんすかねボーリングの調査をんに基づいてるってことですね。
02:22:51	それで、
02:22:52	ここ書いてくれてるのか火山灰花粉
02:22:57	っていうのところが大事だと思って書いてるんですけど、
02:23:02	化石とかね微化石とかその辺は、
02:23:06	今わからないっていう状況なんですか。
02:23:13	はい。折本です。
02:23:15	今これ表をまとめておりますが既存のボーリングであった試料分析T等からられてる結果をまとめております。
02:23:26	もうすでにわかってる情報として花粉がよく出てるってのは従来からご説明させていただいてる通りで、
02:23:33	デカスキーについては、にはですね珪藻は周りと出てきたりもするんですけど、なかなかその振り当て層との対比にあった。
02:23:43	よく振り当て層ってよく出るんだという有効値だとか、
02:23:47	そういったものが出てないものですから、ちょっとその取り扱いはずね今言った分析も含めて、
02:23:54	どういった説明ができるのかというところと合わせて、こう考えていきたいと思ってます。
02:24:01	はい谷です。ここで何か化石とか出てきたらまた我々もちょっと、
02:24:06	ここの今の木曾よりは少し期待値が上がったりするっていうので確認したわけなんですけれども、今んところはじゃあ確認は、
02:24:15	できてないし資料にもちょっと入れないってことで、
02:24:19	はい、わかりました。
02:24:20	さっきのなんかボウリュウノヨリ。
02:24:24	の話をやりとりをした時にちょっと思ったのは、これ大体どれぐらいの間隔でボーリングをされ、
02:24:31	る予定、予定ですかね、されること考えてますその追跡の。
02:24:36	観点で、いや今、今答えれる範囲で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:24:40	教えてもらったらイメージを、森本です。それはあれすかね、H断層、
02:24:47	あと間を見に行く。
02:24:50	今のH断層を敷地で言いますと、大体100メートルぐらいの間隔で、等間隔に分布してますんで、
02:24:58	まずそれぐらい、100メートル弱ぐらいの間隔で大枠の構造を把握しに来る。
02:25:05	調査を、
02:25:06	やってますね。
02:25:07	BF4からBF1までが代田伊井。
02:25:13	1キロ弱ぐらいですかねありますんでその間を等間隔に10本、
02:25:19	ないし、少々、
02:25:21	打った上で、そこに出てきた、で、確認された変位の分だけ、
02:25:29	その間のように、家に行くって感じでまだ一帯に20本。
02:25:35	ぐらいですかね、ちょっと庁舎調査状況にもよるんですけど、今はそれぐらい。
02:25:40	考えて、
02:25:42	はいわかりましたそれぐらいを見とけば今までの実績から、火山灰の高分等を追いかけていけば、H断層あるやなしはこの辺にあるやなしやどれぐらいのダウン。
02:25:53	黄砂があるかっていうのがわかりそうだっていう考えです。わかりました。
02:25:58	あとはねこれもちょっと余計なお話かもしれませんが、私先週、泊の会合をやりました。
02:26:07	あのときに、ちょっとスケジュールの話があって、もうご存知だった、特に委員の方からね、やっぱりこれはね、1ヶ月、ある程度の精度があるようなものが、
02:26:19	出てこないと、何かやっても意味がない、意味があまりないよというような話もあったと思ってまして、ちょっとやっぱこれある程度の今、中部電力の
02:26:30	工程は、
02:26:32	制度が回ると見込みがあるような工程をしっかりと作っていただいているんですかっていうのを確認させてください。
02:26:40	はい。中部電力浜名でございます。10ページ、私どもから月1回はやってくださいというふうに書いてますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:26:50	そこに
02:26:51	ここでお願いしているのが地震と津波を、秋ぐらいに決めてプラント班にということですのでまず特定せず6月にあって、
02:27:02	7月に、
02:27:04	津波の活断層だとか、プレート内その他をやるというところを入れ込ませていただいてそのあとに、Ssの話というところで、
02:27:14	地震津波については、少なくとも資料は、いずれももう、
02:27:21	このペースでは出せるように準備はできております前回のコメントなんかには反映はしておりますが、月1回にはやっていただけるようにという形で進めております。ただ、
02:27:33	多少その9月のところ、ちょっと無理に落ち込んでるのでこのあたりは、場合によっては、そもそも入らないんじゃないかっていう話と、先ほど鈴木さんからあったように8月に、
02:27:45	地質のところぽっと入れさせていただきますがこれは、
02:27:49	出た内容次第で、要は速報でぽっと入れさせて、複数枚の資料で入れさせていただきますのかどうかというちょっと、今後の状況を見てまたご相談申し上げたいんですが、地震津波、
02:28:03	しっかり秋まで、出していくスケジュールのつもりでおります。
02:28:11	はい、谷井です。はい。
02:28:14	状況確認できましたけどこういったことを作る時には、やっぱり現実味があるようなものを作ってくださいというようなところです。はい。名倉さん。
02:28:26	何かあれ、手挙げられてますけど。
02:28:30	名倉です。
02:28:32	ここ、私の声聞こえてますでしょうか。
02:28:35	わかりました。
02:28:38	中部電力の資料にも丁寧に書いていただいたんですけども1本に1ヶ月の開放を実施してくださいという希望については、なるべく考える方向で、
02:28:49	やっていきたいと思います。ただし、
02:28:54	資料がちゃんと提出されてそれをしっかりこちらも受けとめて会合を開催したいと思いますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:29:00	資料のこのヒアリングですね、ヒアリング1回目やってから1ヶ月後ぐらいの会合ということで、考えたいと思います。休みの日お休みの紙を挟んでいるものについては、
02:29:15	例えば地質調査とか、こちら辺は休みを除いて2週間あけていただけたらと思います。
02:29:23	そういう意味でちょっと間隔が狭いやつが結構あるんで、そこは適正化をしていただきたいと思います、基本的には主資料のできがどうかということによると思うんですけど。
02:29:36	必要であればヒアリングについては2回ではなくて3回やるかもしれないし、
02:29:41	要は介護開催までちゃんと理解できるような資料を作っただけなければ、介護は非常に伸びるといふような理解でいただき、いただければと思います。
02:29:51	そういった中で、このスケジュールについては、
02:29:55	月1回は必ずやっていきたいと思いますが、
02:29:59	2回開催とかなってるものについてはなかなか難しいかと思います。
02:30:05	それで、ちょっとお願いしたいのは、敷地の地質地質構造について、評価方針を8月に説明すると。
02:30:13	ということですけども結果については11月とか来年の2月とかそういったところを、照屋って出てくるようなものに関して今のところの方針を説明するということに対して、
02:30:24	今までの前例を踏まえると、早期に方針を中部電力が説明するのはなかなか難しいんじゃないでしょうか。
02:30:32	方針徹底審議して結局方針に相当するものは、例えばうちがうちの内藤が望んでるような方針は出てこないと思うので、
02:30:42	これ方針というのは計画の概要を説明するだけなのかなと思うんですけど、そういったものであれば、他の案件と一緒にかけることは可能ですけど、
02:30:52	こちら辺はちょっとよく考えていただければと思います。方針と言って書いたら1回分使えますので、月に1回の会合で、他の案件を押しつけて、地質構造をやる意味があるかどうかよく考えた上で資料出していきたいと思います。
02:31:08	私が言いたかったのは1ヶ月に1度は、会合を開催するというので、これは他の案件の、いや、やりくりをしていく中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:31:18	最大限努力して考えていきたいというふうに考えているんですが、
02:31:24	それに伴って事業者の方でしっかりと資料を作るとのことと、あと、その審議の重みづけですね。
02:31:33	それをちゃんと意識していただきたいということをお願いしたいと思います。私からは以上です。
02:31:40	はい。中部電力天野でございます。ありがとうございます。確かにちょっと休みを挟んでという無茶なところなんかもありますので少し適正化させていただきつつ、
02:31:52	もう名倉調整官おっしゃることは重々承知しております我々が提出資料が当然わかりやすければ、すぐに
02:32:01	ご審議にかかっただけですまたわかりにくいと、それを何度も直して時間かかるっていうのわかってますので、しっかり概要で、
02:32:10	全体を俯瞰できるもの、下本体としては、中身がちゃんとわかりやすい構成にしつつ、バックデータを後ろにしっかりつけるということ。
02:32:21	重々考えながら進めて参りたいと思いますちょっとスケジュールの方、審査会合までに、少し今いびつになってるところは修正させていただいて提出させていただきたいと思いますよろしくお願いたします。
02:32:42	はい。
02:32:43	よろしいですかね。
02:32:47	はい。
02:32:48	一応今回、前回津波の会合で話がありました通り直近の会合のときに、
02:32:55	状況の
02:32:58	はい。配布というか説明ということで、
02:33:00	話を聞くことになってますので、先ほど確認した特定せずですかね。
02:33:05	甲斐とセットで、会合としては、資料として提出いただくことになりま すのでよろしくお願いたします。
02:33:12	特に中部電力からも確認がなければ、
02:33:17	以上で終了しますか。よろしいですか。
02:33:21	はい。それでは、ヒアリングの方を終了したいと思います。お疲れ様で した。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。